

江戸川区

介護保険事業計画及び熟年しあわせ計画 改定のための基礎調査報告書 < 概要版 >

平成23年(2011年)4月



〔目次〕

【1】調査の概要

- 1. 調査の目的..... 1
- 2. 調査の概要..... 1

【2】調査の結果の概要

1. 健康と生きがいに関する調査

- (1) 性別、現在の満年齢..... 2
- (2) 世帯構成..... 2
- (3) 健康づくり・介護予防の講座への参加状況、参加したことがない理由..... 3
- (4) 現在の就労状況..... 4
- (5) 今後の就労意向..... 4
- (6) 現在参加している余暇活動・社会参加活動..... 5
- (7) 今後参加したい余暇活動・社会参加活動..... 5
- (8) 介護経験の有無..... 6
- (9) 介護者にとって必要な支援..... 6

2. 熟年者の健康と生きがいに関する調査

- (1) 性別、現在の満年齢..... 7
- (2) 世帯構成、日中独居の状況..... 7
- (3) 介護予防のための取り組み状況..... 8
- (4) 今後取り組みたい活動..... 8
- (5) 現在の就労状況..... 9
- (6) 今後の就労意向..... 9
- (7) 現在参加している余暇活動・社会参加活動..... 10
- (8) 今後参加したい余暇活動・社会参加活動..... 10

3. 介護予防に関する調査

- (1) 性別、現在の満年齢..... 11
- (2) 世帯構成、日中独居の状況..... 11
- (3) 介護予防相談の状況、相談に行かなかった理由..... 12
- (4) 介護予防事業の参加状況..... 12
- (5) 介護予防事業に参加してよかったこと..... 13
- (6) 今後取り組みたい活動..... 14
- (7) 日常生活の中で手助けしてほしいこと..... 15

4. 介護保険サービス利用に関する調査

- (1) 性別、現在の満年齢..... 16
- (2) 世帯構成、日中独居の状況..... 16
- (3) 要介護度..... 17
- (4) 介護保険サービスの利用状況..... 17

(5) 在宅の介護保険サービスの利用状況	18
(6) 在宅の介護保険サービスの満足度	19
(7) 今後利用したい介護保険外サービス	20
(8) 家族介護の状況	21
(9) 介護者にとって必要な支援	21

5. 区民向け4調査間の比較結果

(1) 健康状態	22
(2) かかりつけ医の有無	23
(3) 介護予防に取り組みやすくするための条件	24
(4) 近所の人とのつきあいの程度	25
(5) 今後介護を受けたい場所	26
(6) 在宅で暮らし続けるために必要と思うこと	27
(7) 介護保険サービスの利用に対する考え	28
(8) 介護保険料の家計への影響	28
(9) 区の熟年者施策の充実度	29
(10) 区の熟年者施策で充実してほしいこと	30

6. 介護保険サービス事業者調査

(1) 実施している介護サービス事業	31
(2) 事業の拡大・新規参入を考えているサービス	32
(3) 人材確保や雇用管理に関する課題	33
(4) 区に充実・支援してほしいこと	34
(5) 今後力を入れるべき江戸川区の熟年者施策	35

7. 介護支援専門員調査

(1) 担当している利用者数	36
(2) 不足していると感じる介護保険サービス	37
(3) 充実すべき区の保健福祉サービス	38
(4) 負担に感じるケアマネジメント業務	39
(5) 区に支援・充実してほしいと思うこと	40

【1】調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、平成24年度～平成26年度を計画期間とする「第5期介護保険事業計画」及び「熟年しあわせ計画」の改定の基礎資料として用いるために実施した。

2. 調査の概要

調査名	健康と生きがいに関する調査	熟年者の健康と生きがいに関する調査	介護予防に関する調査
調査方法	郵送配付、郵送回収		
調査対象者	60歳以上65歳未満の要介護認定を受けていない区民 (平成22年11月1日現在)	65歳以上の要介護認定を受けていない区民 (平成22年11月1日現在)	65歳以上の二次予防事業の候補者・決定者となっている区民 (平成22年11月1日現在)
抽出元及び抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出	住民基本台帳より無作為抽出	住民基本台帳より無作為抽出 (外国人登録者を含む)
調査期間	平成22年11月22日～12月15日		
対象者及び回収率	対象者数：2,000 有効回収数：1,219 有効回収率：61.0%	対象者数：2,500 有効回収数：1,753 有効回収率：70.1%	対象者数：1,000 有効回収数：803 有効回収率：80.3%

調査名	介護保険サービス利用に関する調査	介護保険サービス事業者調査	介護支援専門員調査
調査方法	郵送配付、郵送回収		
調査対象者	65歳以上の要介護認定を受け、施設サービス、認知症高齢者グループホーム、有料老人ホームを利用していない区民 (平成22年11月1日現在)	区内すべての介護保険サービス事業者 (平成23年1月1日現在)	NPO法人江戸川区ケアマネジャー協会に加入し、介護支援専門員として従事している会員
抽出元及び抽出方法	介護保険被保険者台帳より無作為抽出 (外国人登録者を含む)	介護保険事業者名簿	NPO法人江戸川区ケアマネジャー協会会員名簿
調査期間	平成22年 11月22日～12月15日	平成23年1月11日～1月31日	
対象者及び回収率	対象者数：2,500 有効回収数：1,607 有効回収率：64.3%	対象者数：336 有効回収数：220 有効回収率：65.5%	対象者数：381 有効回収数：244 有効回収率：64.0%

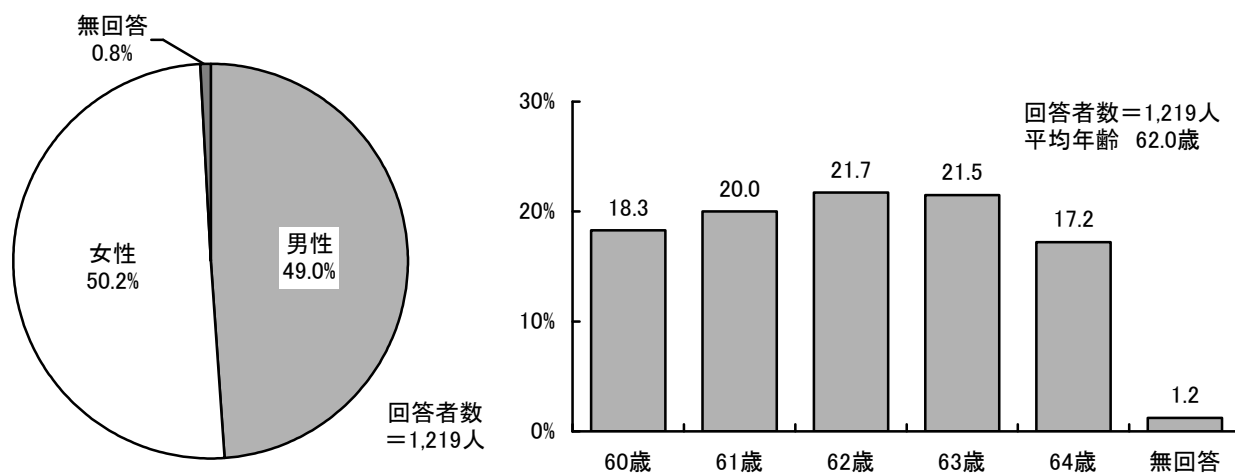
【2】調査の結果の概要

1. 健康と生きがいに関する調査

(1) 性別、現在の満年齢

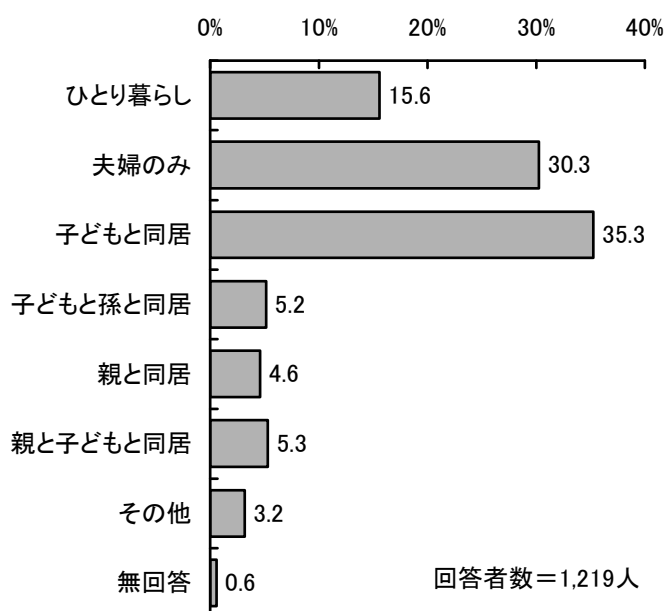
性別は、「男性」49.0%、「女性」50.2%と、ほぼ半数ずつである。

年齢は、各歳2割前後を占め、平均62.0歳となっている。



(2) 世帯構成

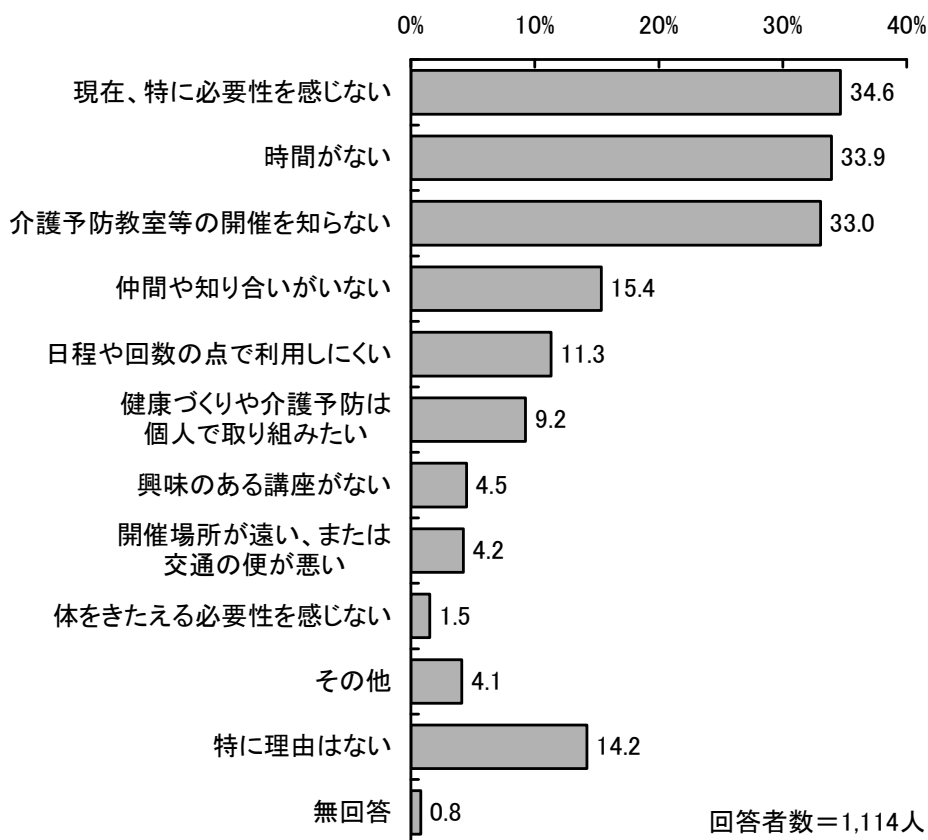
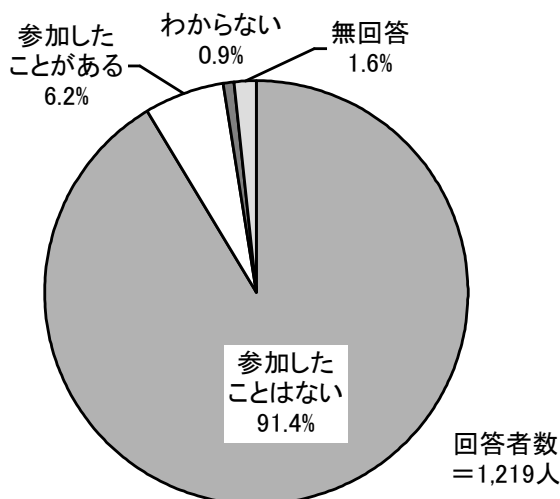
世帯構成は、「子どもと同居」35.3%がもっとも高く、次いで「夫婦のみ」30.3%、「ひとり暮らし」15.6%の順となっている。「親と同居」4.6%、「親と子どもと同居」5.3%をあわせた親と同居している世帯は全体の約1割を占める。



(3) 健康づくり・介護予防の講座への参加状況、参加したことがない理由

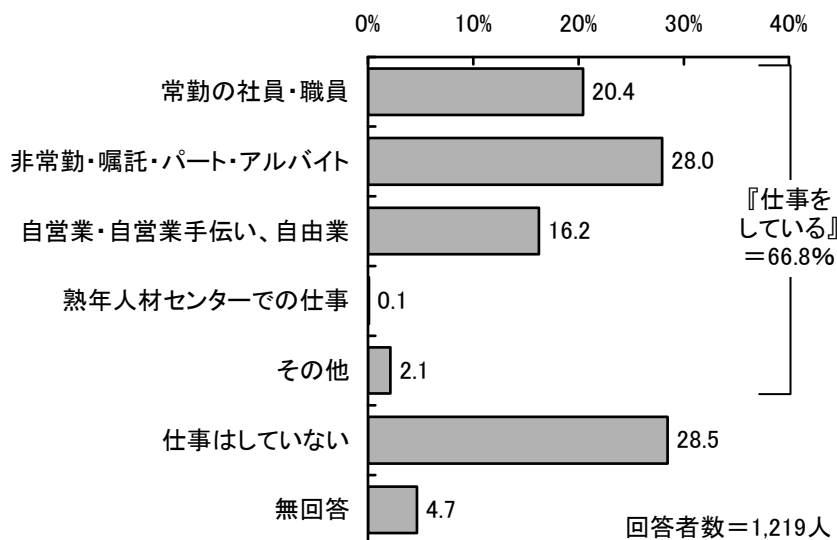
区の健康づくり・介護予防の講座への参加状況をみると、「参加したことはない」が91.4%を占め、「参加したことがある」は6.2%であった。

参加したことがない理由は、「現在、特に必要性を感じない」34.6%、「時間がない」33.9%、「介護予防教室等の開催を知らない」33.0%が上位3項目となっている。



(4)現在の就労状況

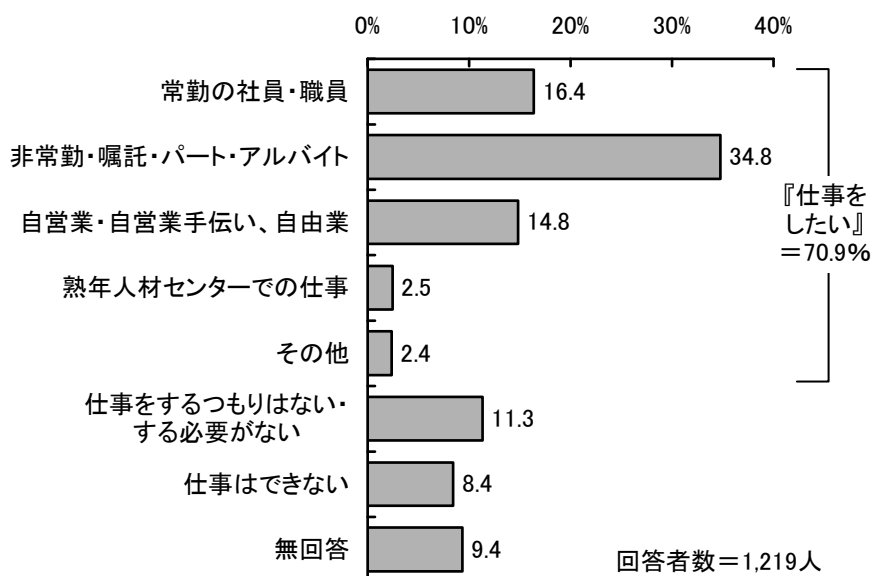
現在の就労状況をみると、『仕事をしている』人の割合は全体の66.8%を占める。具体的には、「非常勤・嘱託・パート・アルバイト」28.0%、「常勤の社員・職員」20.4%、「自営業・自営業手伝い、自由業」16.2%の順となっている。



※『仕事をしている』=100%－「仕事はしていない」－「無回答」

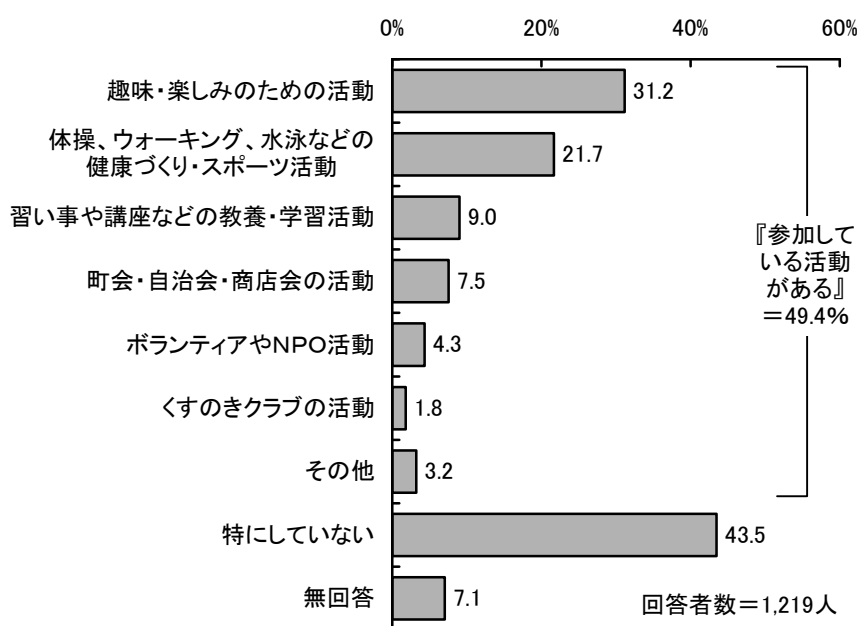
(5)今後の就労意向

今後の就労意向をみると、70.9%が『仕事をしたい』と回答している。希望する就労形態は、「非常勤・嘱託・パート・アルバイト」34.8%、「常勤の社員・職員」16.4%、「自営業・自営業手伝い、自由業」14.8%の順で続いている。



※『仕事をしたい』=100%－「仕事をするつもりはない・する必要がない」－「仕事はできない」－「無回答」

(6) 現在参加している余暇活動・社会参加活動

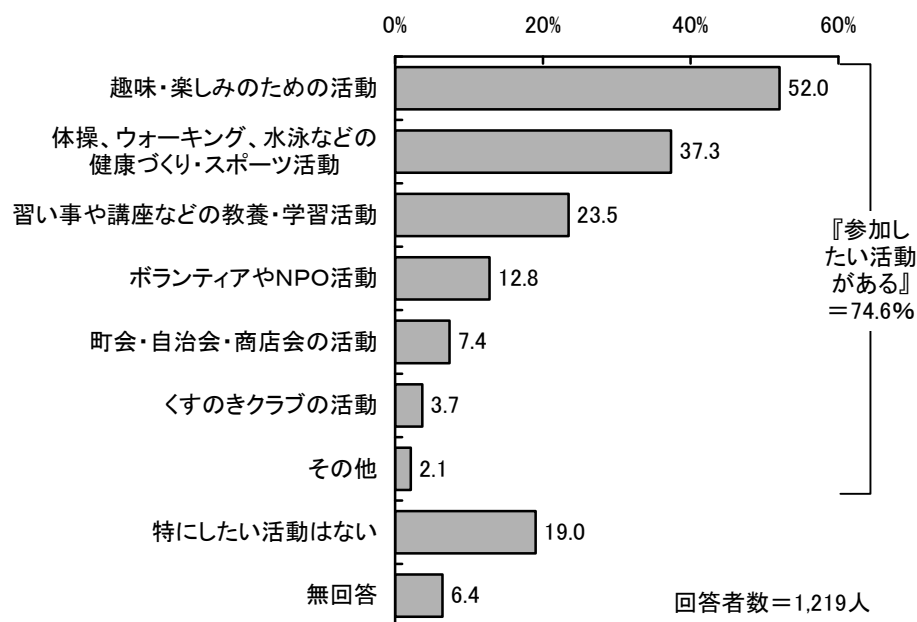


※『参加している活動がある』 = 100% - 「特にしていない」 - 「無回答」

余暇活動・社会参加活動について、現在『参加している活動がある』人の割合は49.4%と約半数を占める。

具体的には、「趣味・楽しみのための活動」31.2%がもっとも高く、次いで「体操、ウォーキング、水泳などの健康づくり・スポーツ活動」21.7%、「習い事や講座などの教養・学習活動」9.0%、「町会・自治会・商店会の活動」7.5%と続いている。

(7) 今後参加したい余暇活動・社会参加活動



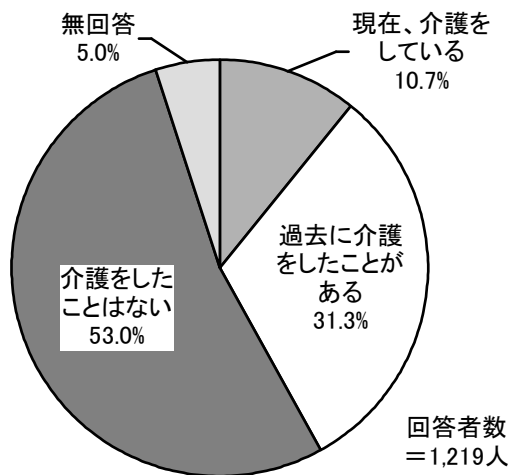
※『参加したい活動がある』 = 100% - 「特にしたい活動はない」 - 「無回答」

今後参加したい余暇活動・社会参加活動をみると、74.6%が『参加したい活動がある』と回答している。

具体的には、「趣味・楽しみのための活動」に52.0%、「体操、ウォーキング、水泳などの健康づくり・スポーツ活動」に37.3%、「習い事や講座などの教養・学習活動」に23.5%、「ボランティアやNPO活動」に12.8%が参加意向を示している。

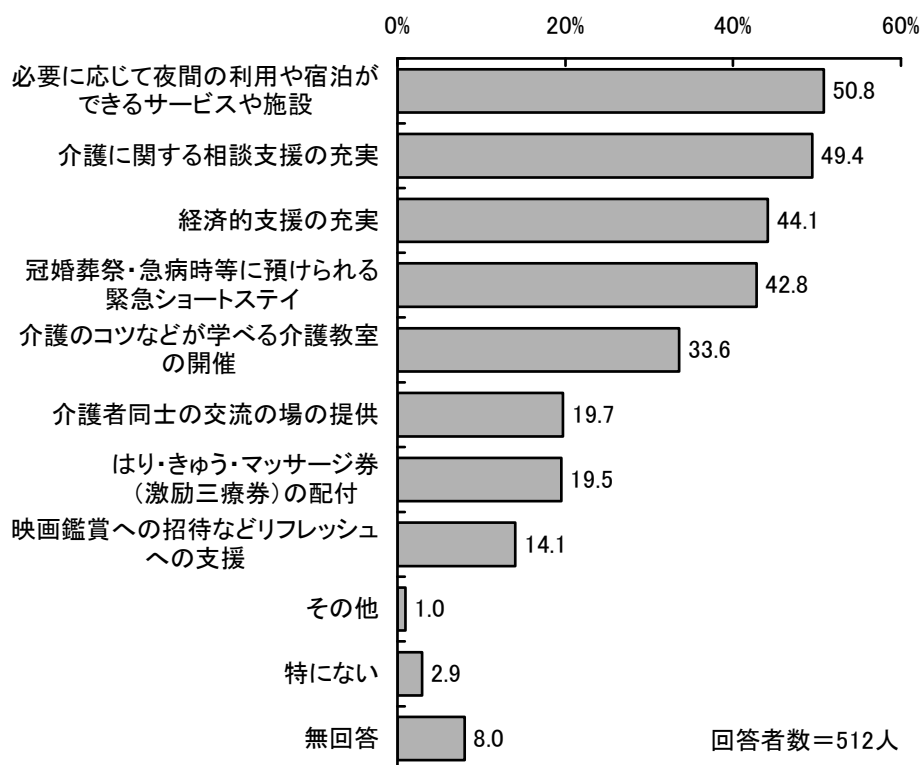
(8) 介護経験の有無

介護経験の有無をみると、「現在、介護をしている」が 10.7%、「過去に介護をしたことがある」が 31.3%と、これらをあわせた 42.0%が介護経験があると回答している。



(9) 介護者にとって必要な支援

介護者にとって必要な支援としては、「必要に応じて夜間の利用や宿泊ができるサービスや施設」50.8%に次いで、「介護に関する相談支援の充実」49.4%、「経済的支援の充実」44.1%、「冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急ショートステイ」42.8%などとなっている。

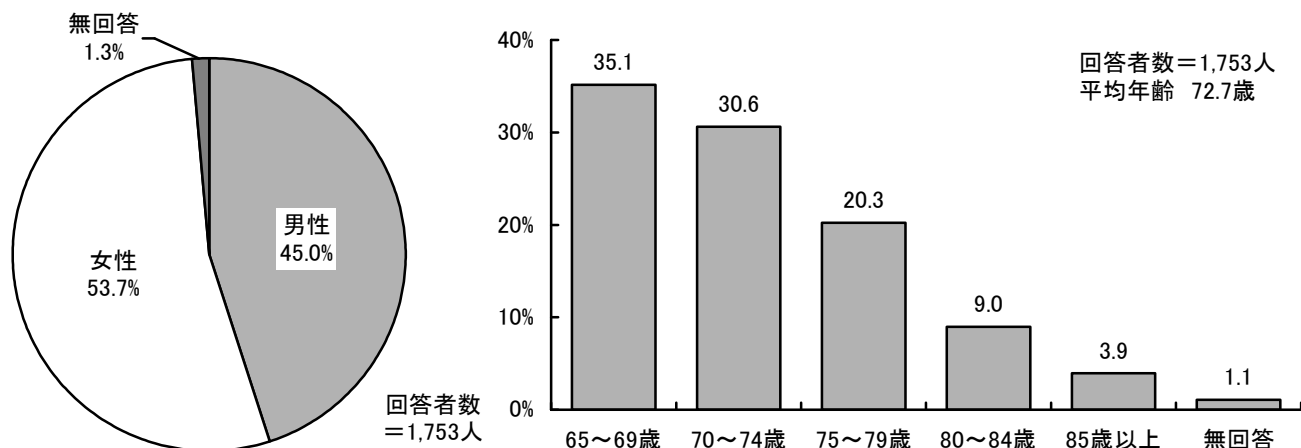


2. 熟年者の健康と生きがいに関する調査

(1) 性別、現在の満年齢

性別は、「男性」45.0%、「女性」53.7%と、女性の方が8.7ポイント高い。

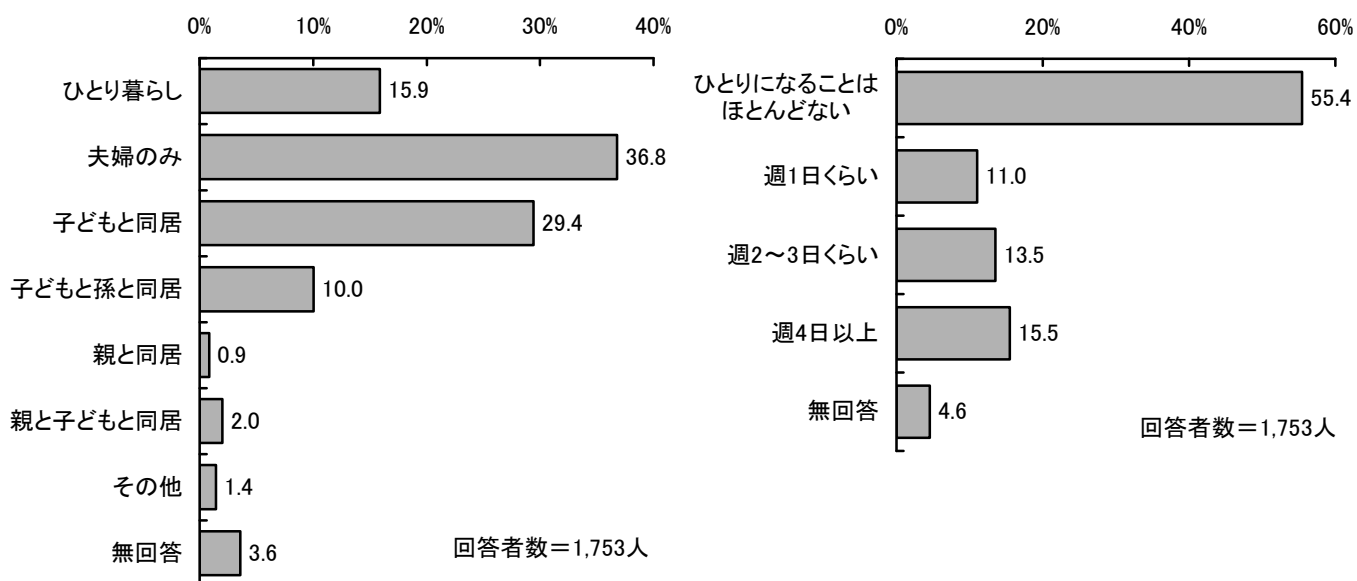
年齢は「65～69歳」35.1%がもっとも高く、次いで「70～74歳」30.6%と、これらをあわせた前期高齢者が全体の65.7%を占める。平均年齢は72.7歳となっている。



(2) 世帯構成、日中独居の状況

世帯構成は、「夫婦のみ」がもっとも高い36.8%、次いで「子どもと同居」が29.4%、「ひとり暮らし」15.9%、「子どもと孫と同居」10.0%の順となっている。

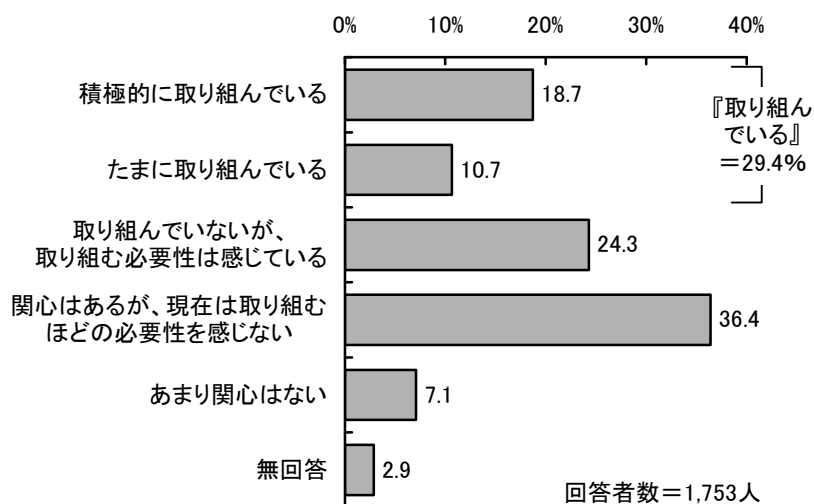
日中独居の状況をみると、「ひとりになることはほとんどない」が55.4%と過半数を占める一方、「週4日以上」とする回答も15.5%と1割を超える。



(3) 介護予防のための取り組み状況

介護予防のための取り組み状況をみると、「関心はあるが、現在は取り組むほどの必要性を感じない」36.4%がもっとも高く、次いで「取り組んでいないが、取り組む必要性は感じている」24.3%が続いている。

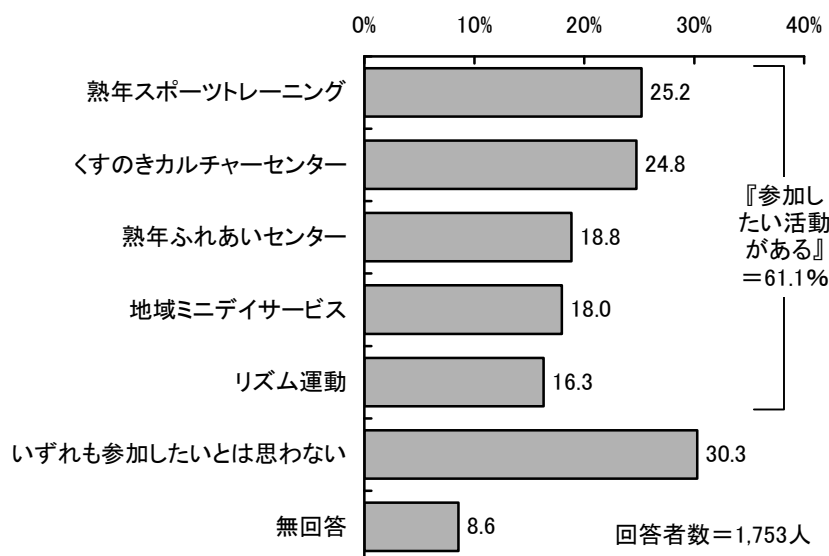
「積極的に取り組んでいる」18.7%、「たまに取り組んでいる」10.7%をあわせた『取り組んでいる』人の割合は約3割となっている。



※『取り組んでいる』 = 「積極的に取り組んでいる」 + 「たまに取り組んでいる」

(4) 今後取り組みたい活動

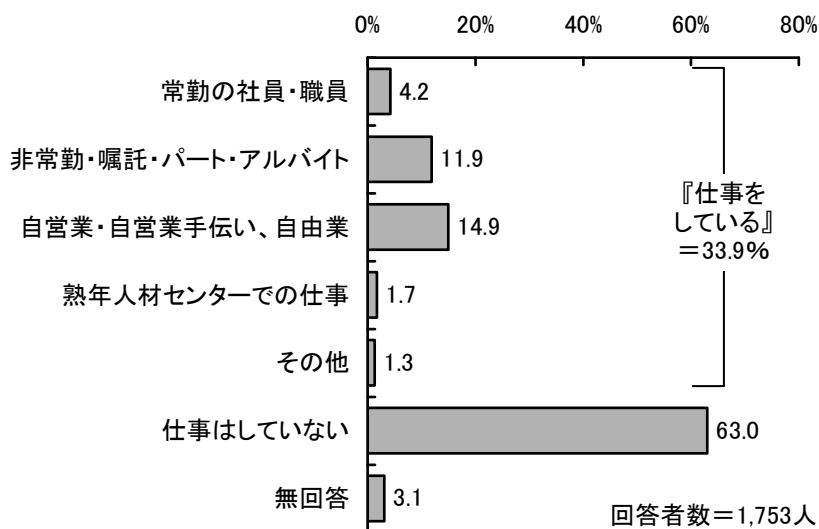
今後取り組みたい活動をみると、61.1%が『参加したい活動がある』と回答している。具体的には、「熟年スポーツトレーニング」25.2%、「くすのきカルチャーセンター」24.8%、「熟年ふれあいセンター」18.8%の順となっている。



※『参加したい活動がある』 = 100% - 「いずれも参加したいとは思わない」 - 「無回答」

(5)現在の就労状況

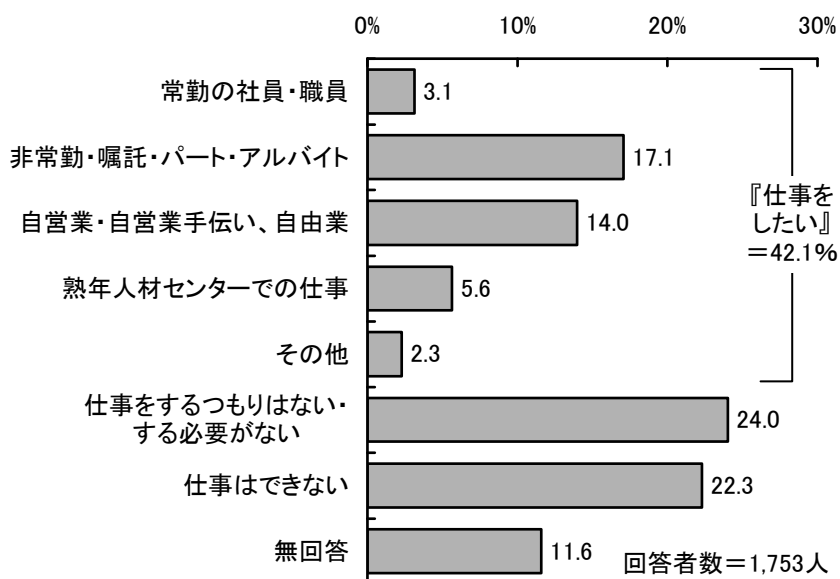
現在の就労状況を見ると、『仕事をしている』人の割合は33.9%となっている。具体的には、「自営業・自営業手伝い、自由業」がもっとも高い14.9%、次いで「非常勤・嘱託・パート・アルバイト」11.9%、「常勤の社員・職員」4.2%となっている。



※『仕事をしている』=100%－「仕事はしていない」－「無回答」

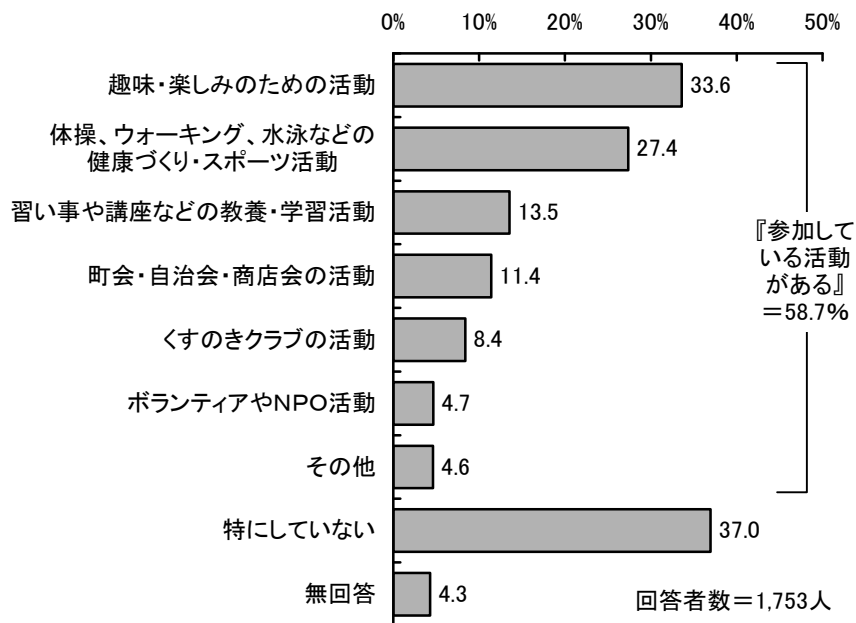
(6)今後の就労意向

今後の就労意向を見ると、42.1%が『仕事をしたい』と回答しており、現在の就労状況と比べて8.2ポイント高くなっている。希望する就労形態は、「非常勤・嘱託・パート・アルバイト」17.1%、「自営業・自営業手伝い、自由業」14.0%、「熟年人材センターでの仕事」5.6%などとなっている。



※『仕事をしたい』=100%－「仕事をするつもりはない・する必要がない」－「仕事はできない」－「無回答」

(7) 現在参加している余暇活動・社会参加活動

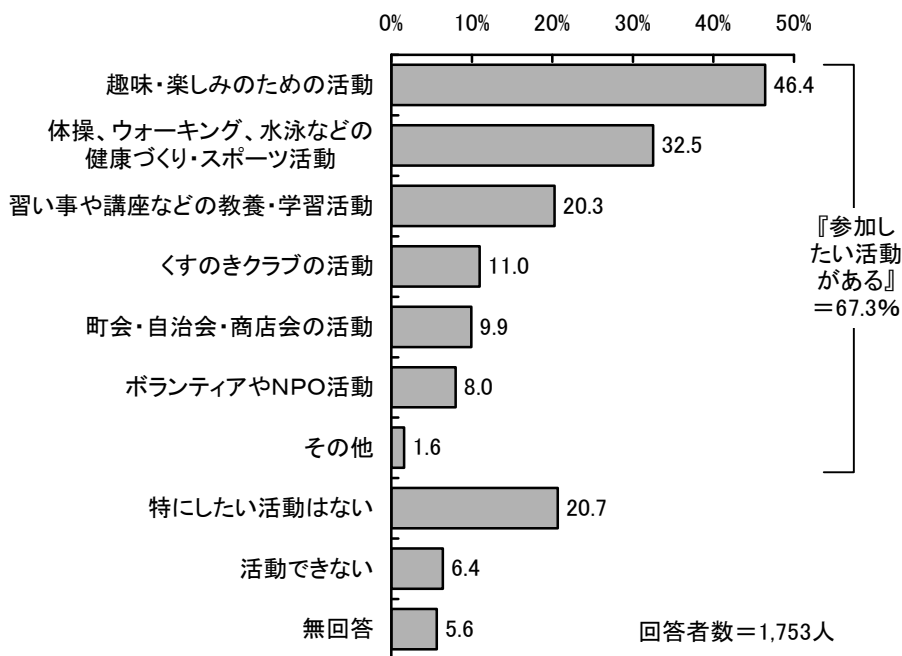


余暇活動・社会参加活動について、現在『参加している活動がある』人の割合は58.7%となっている。

具体的には、「趣味・楽しみのための活動」33.6%に次いで、「体操、ウォーキング、水泳などの健康づくり・スポーツ活動」27.4%、「習い事や講座などの教養・学習活動」13.5%と続いている。

※『参加している活動がある』 = 100% - 「特にしていない」 - 「無回答」

(8) 今後参加したい余暇活動・社会参加活動



余暇活動・社会参加活動について、今後『参加したい活動がある』人の割合は67.3%であり、現在の活動状況に比べて8.6ポイント高くなっている。

具体的には、「趣味・楽しみのための活動」46.4%、「体操、ウォーキング、水泳などの健康づくり・スポーツ活動」32.5%、「習い事や講座などの教養・学習活動」20.3%などとなっている。

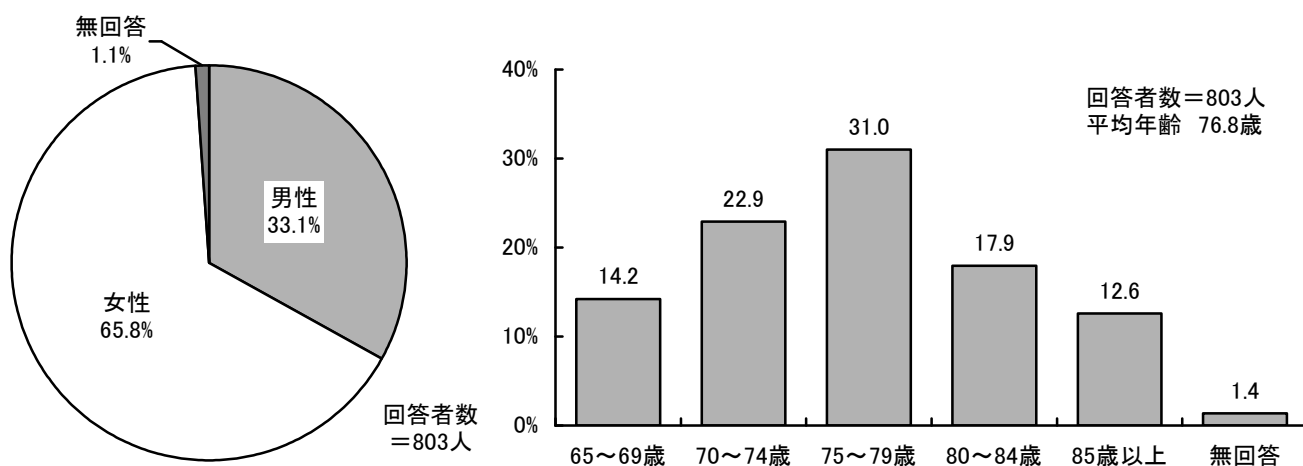
※『参加したい活動がある』 = 100% - 「特にしたい活動はない」 - 「活動できない」 - 「無回答」

3. 介護予防に関する調査

(1) 性別、現在の満年齢

性別は「男性」33.1%に対して、「女性」65.8%と、「女性」が「男性」の約2倍となっている。

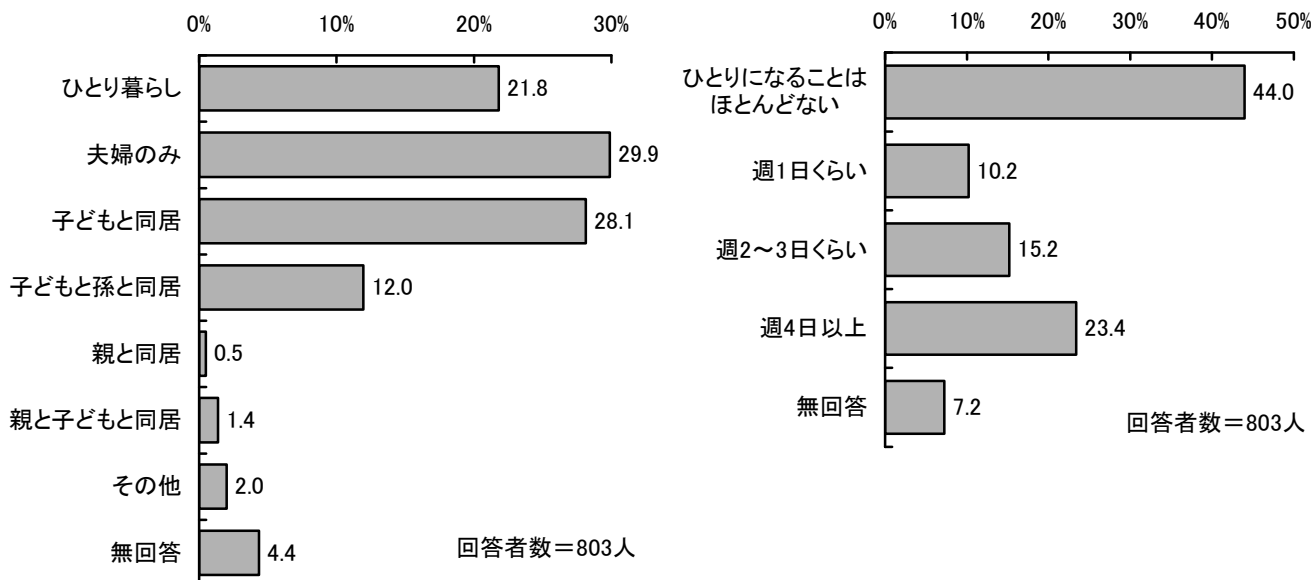
年齢は、「75～79歳」が31.0%ともっとも高く、「70～74歳」22.9%、「80～84歳」17.9%と続いており、平均年齢は76.8歳であった。



(2) 世帯構成、日中独居の状況

世帯構成は、「夫婦のみ」29.9%、「子どもと同居」28.1%に次いで、「ひとり暮らし」21.8%と続いている。

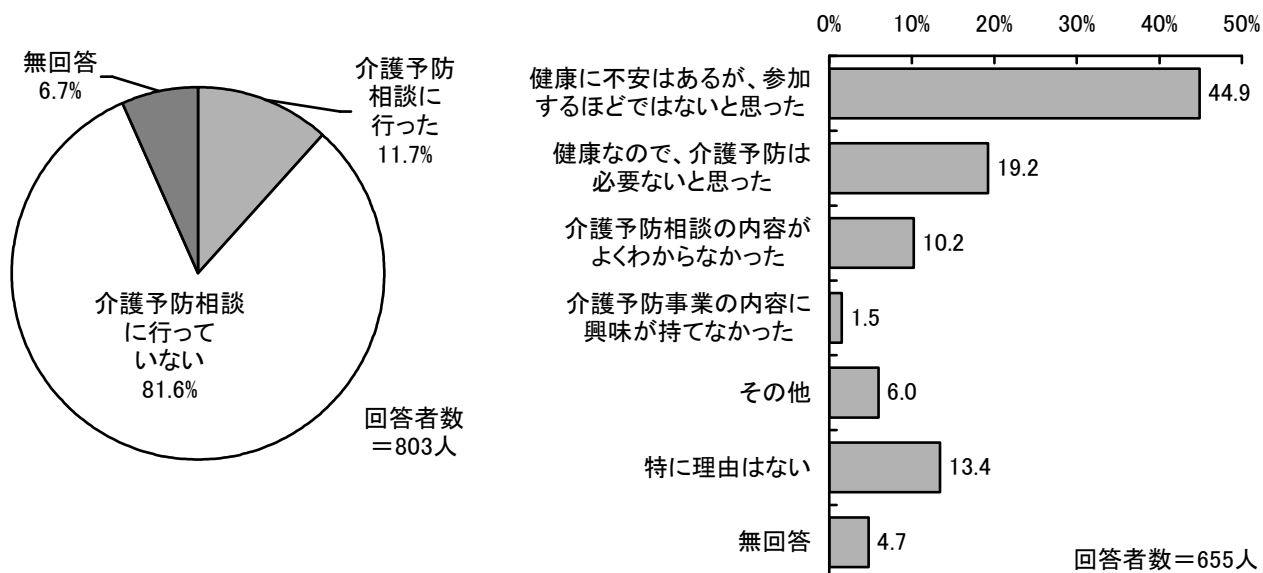
日中独居の状況をみると、「ひとりになることはほとんどない」は44.0%であり、23.4%が「週4日以上」ひとりであると回答している。



(3) 介護予防相談の状況、相談に行かなかった理由

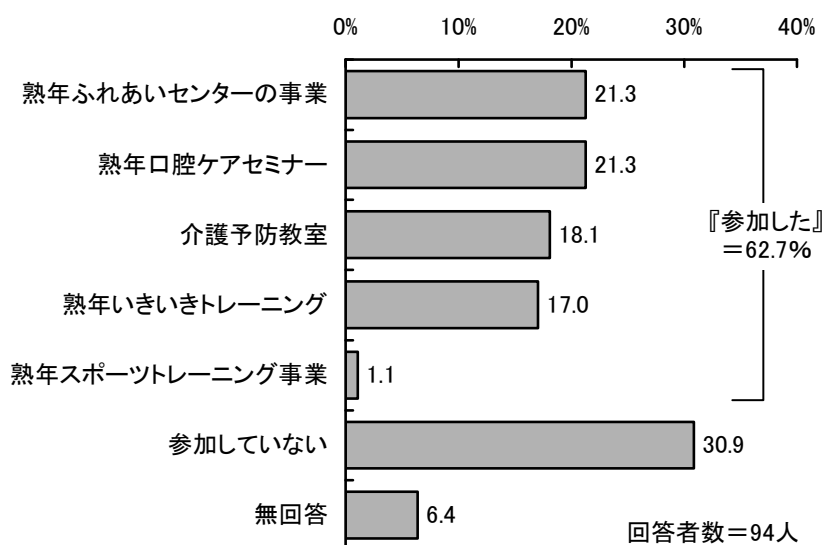
介護予防相談の状況をみると、「介護予防相談に行った」11.7%、「介護予防相談に行っていない」81.6%となっている。

相談に行かなかった理由は、「健康に不安はあるが、参加するほどではないと思った」44.9%がもっとも高く、次いで「健康なので、介護予防は必要ないと思った」19.2%、「介護予防相談の内容がよくわからなかった」10.2%となっている。



(4) 介護予防事業の参加状況

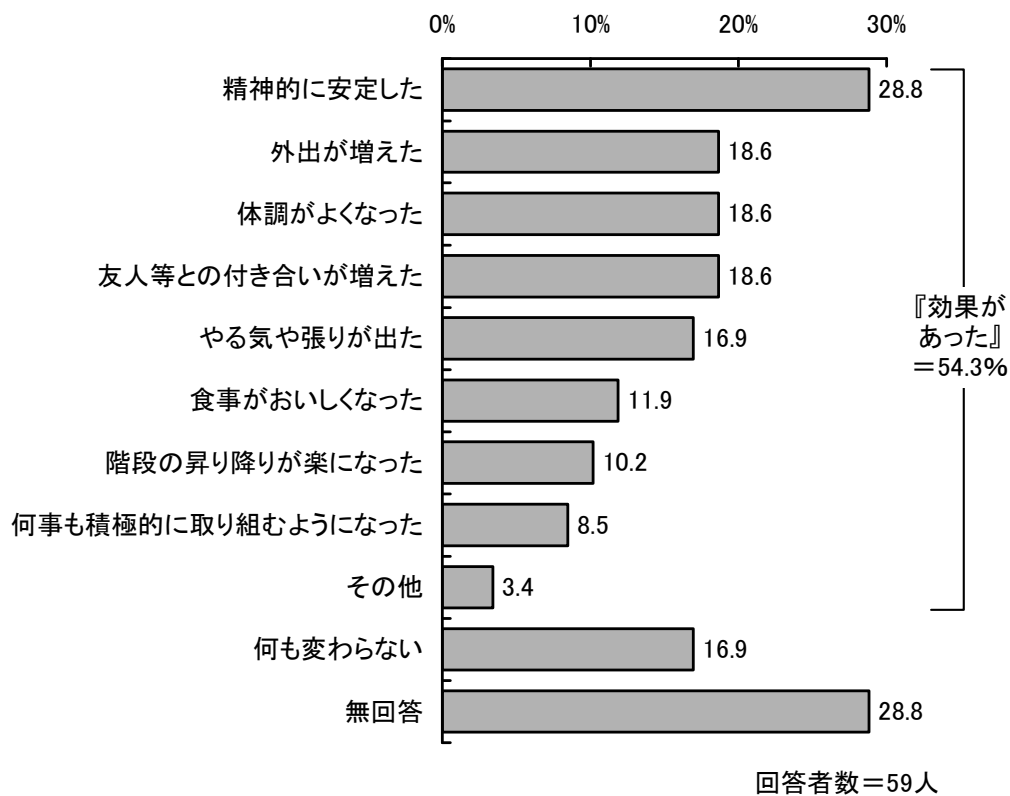
介護予防相談に行った人の介護予防事業の参加状況をみると、『参加した』人の割合は62.7%となっている。具体的には、「熟年ふれあいセンターの事業」「熟年口腔ケアセミナー」が各21.3%、「介護予防教室」18.1%、「熟年いきいきトレーニング」17.0%、「熟年スポーツトレーニング事業」1.1%となっている。



※『参加した』 = 100% - 「参加していない」 - 「無回答」

(5) 介護予防事業に参加してよかったこと

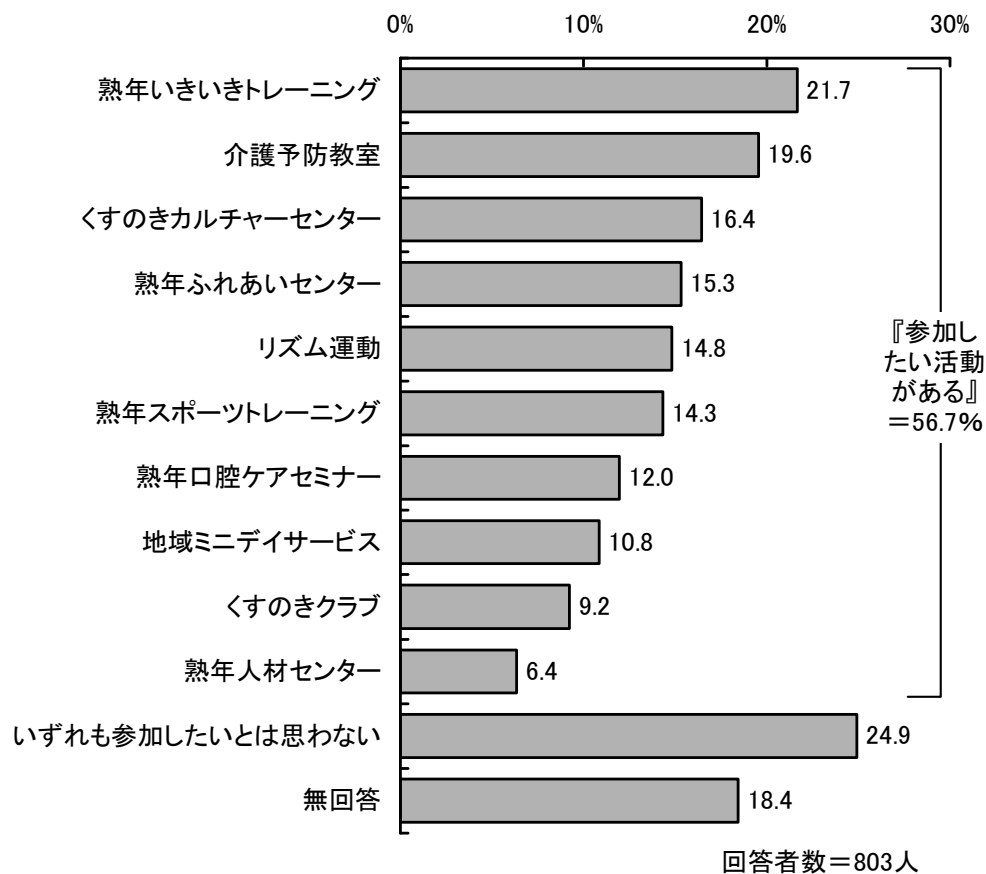
介護予防事業に参加した人に、参加してよかったことをたずねたところ、54.3%と過半数が『効果があった』と回答している。具体的には、「精神的に安定した」28.8%がもっとも高く、次いで「外出が増えた」「体調がよくなった」「友人等との付き合いが増えた」が各18.6%で続いている。



※『効果があった』=100%－「何も変わらない」－「無回答」

(6) 今後取り組みたい活動

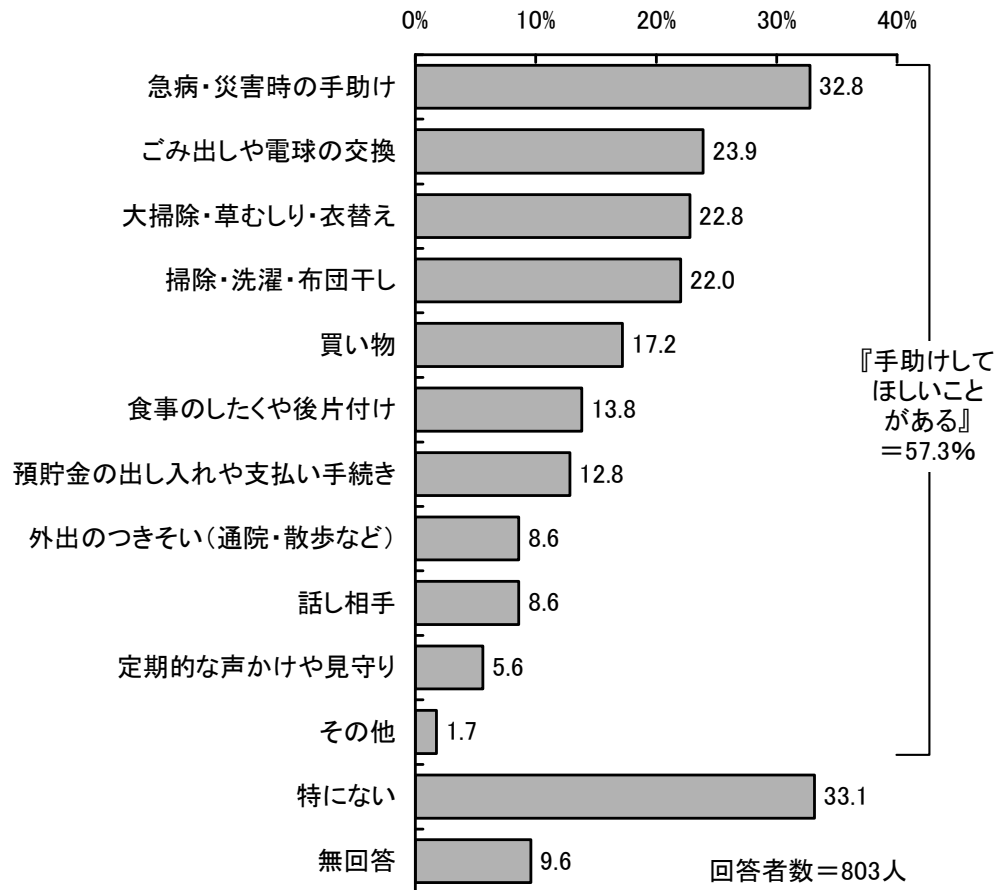
今後取り組みたい活動をみると、56.7%が『参加したい活動がある』と回答している。参加したい具体的な活動としては、「熟年いきいきトレーニング」21.7%、「介護予防教室」19.6%、「くすのきカルチャーセンター」16.4%の順となっている。



※『参加したい活動がある』=100%－「いずれも参加したいとは思わない」－「無回答」

(7) 日常生活の中で手助けしてほしいこと

日常生活の中で手助けしてほしいことをみると、57.3%が『手助けしてほしいことがある』と回答している。具体的には、「急病・災害時の手助け」32.8%に次いで、「ごみ出しや電球の交換」「大掃除・草むしり・衣替え」「掃除・洗濯・布団干し」が2割台で続いている。



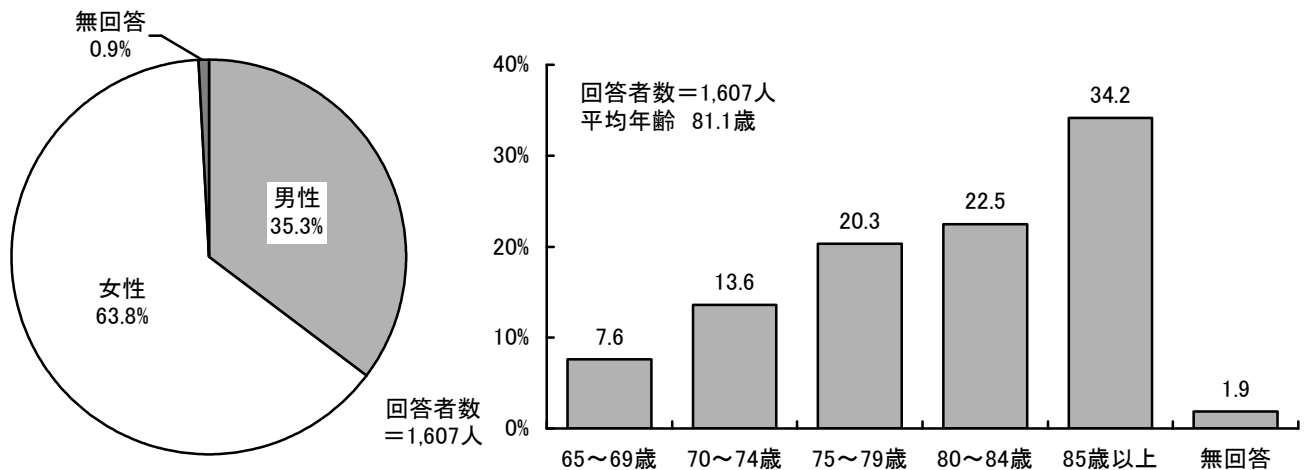
※『手助けしてほしいことがある』 = 100% - 「特にない」 - 「無回答」

4. 介護保険サービス利用に関する調査

(1) 性別、現在の満年齢

性別は、「男性」35.3%に対して「女性」が63.8%を占める。

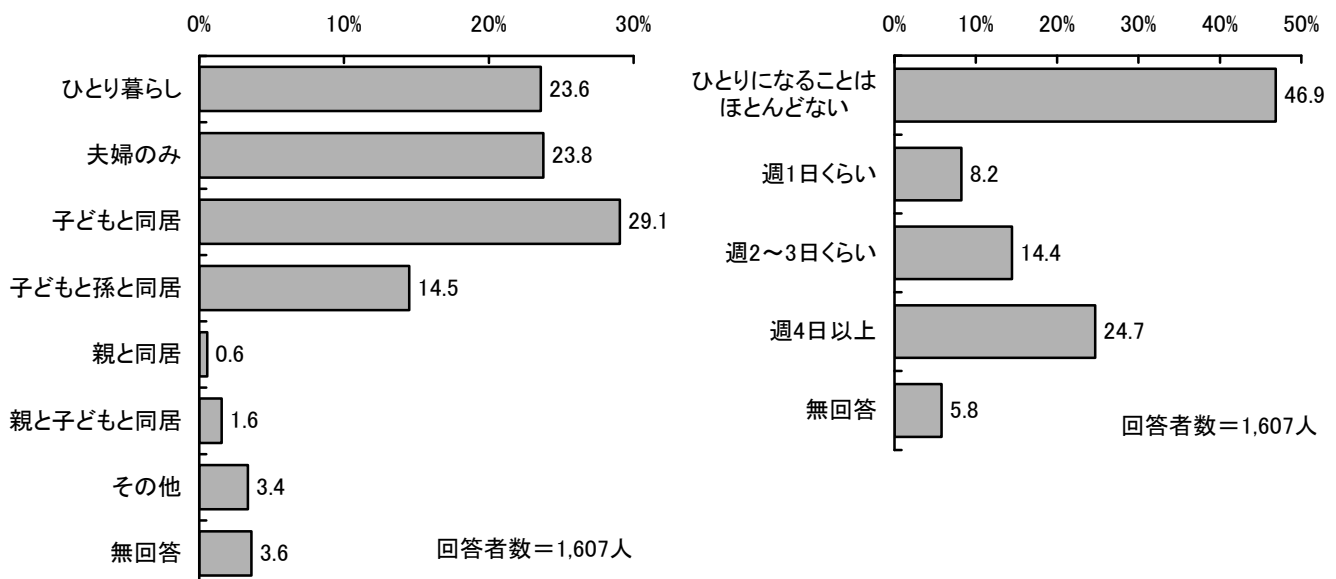
年齢は、年齢層が高いほど割合が高く、「85歳以上」が34.2%を占める。平均年齢は81.1歳となっている。



(2) 世帯構成、日中独居の状況

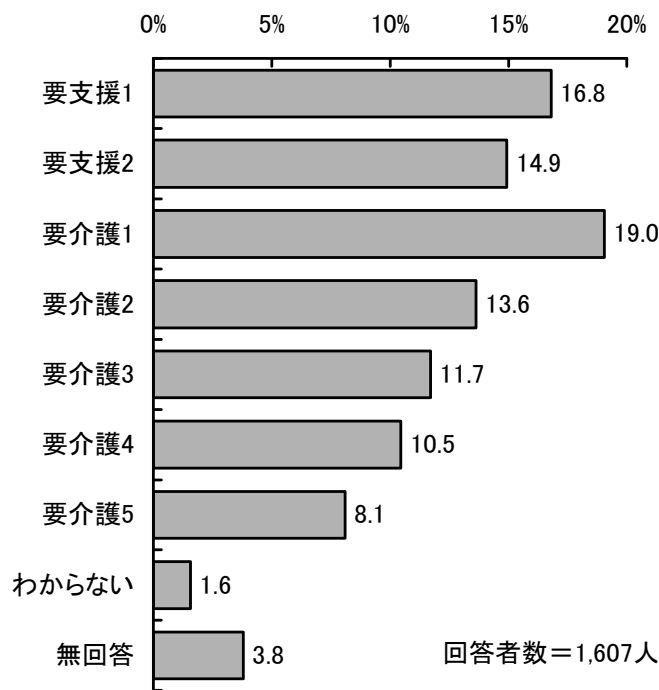
世帯構成は、「子どもと同居」29.1%に次いで、「夫婦のみ」23.8%、「ひとり暮らし」23.6%がほぼ同じ割合で続いている。

日中独居の状況をみると、「ひとりになることはほとんどない」は46.9%と5割を下回っており、約4人に1人が「週4日以上」ひとりであると回答している。



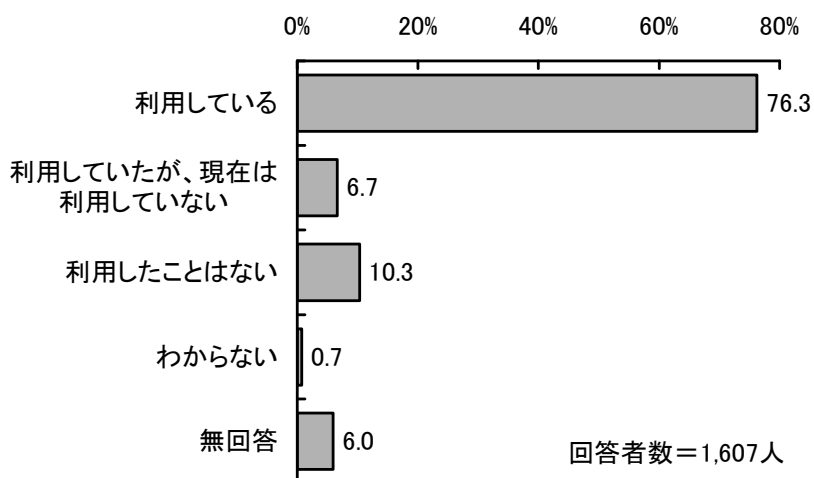
(3) 要介護度

要介護度は、「要介護 1」 19.0%、「要支援 1」 16.8%、「要支援 2」 14.9%の順となっている。「要支援 1」と「要支援 2」をあわせた要支援は 31.7%、「要介護 1」から「要介護 2」は 32.6%、「要介護 3」から「要介護 5」は 30.3%を占めている。



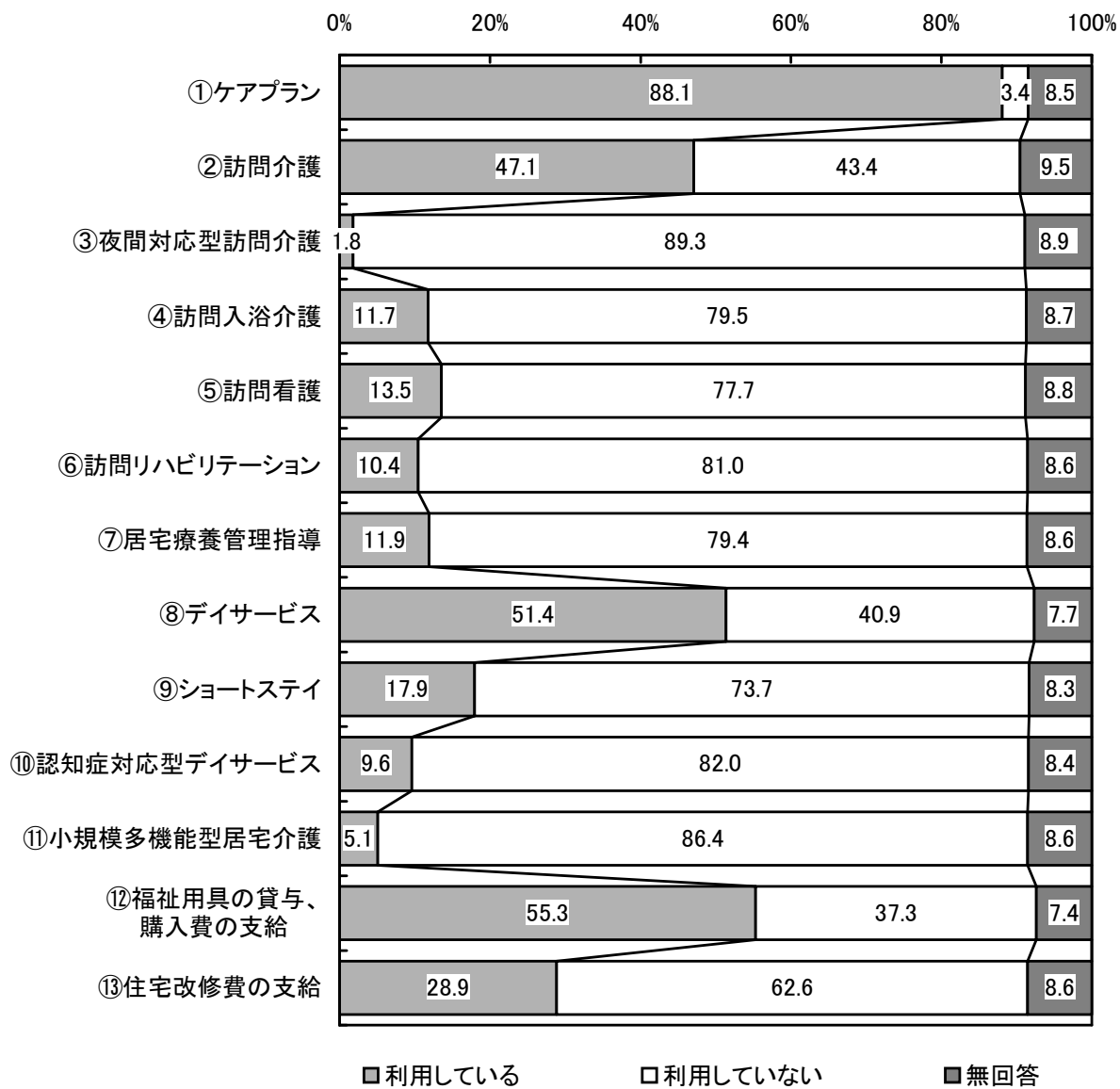
(4) 介護保険サービスの利用状況

介護保険サービスの利用状況を見ると、「利用している」は 76.3%であり、「利用したことはない」 10.3%、「利用していたが、現在は利用していない」 6.7%となっている。



(5) 在宅の介護保険サービスの利用状況

在宅の介護保険サービスの利用状況をみると、利用率が高いサービスは“⑫福祉用具の貸与、購入費の支給”“⑧デイサービス”が5割台、“②訪問介護”が4割台、“⑬住宅改修費の支給”が2割台と続いている。

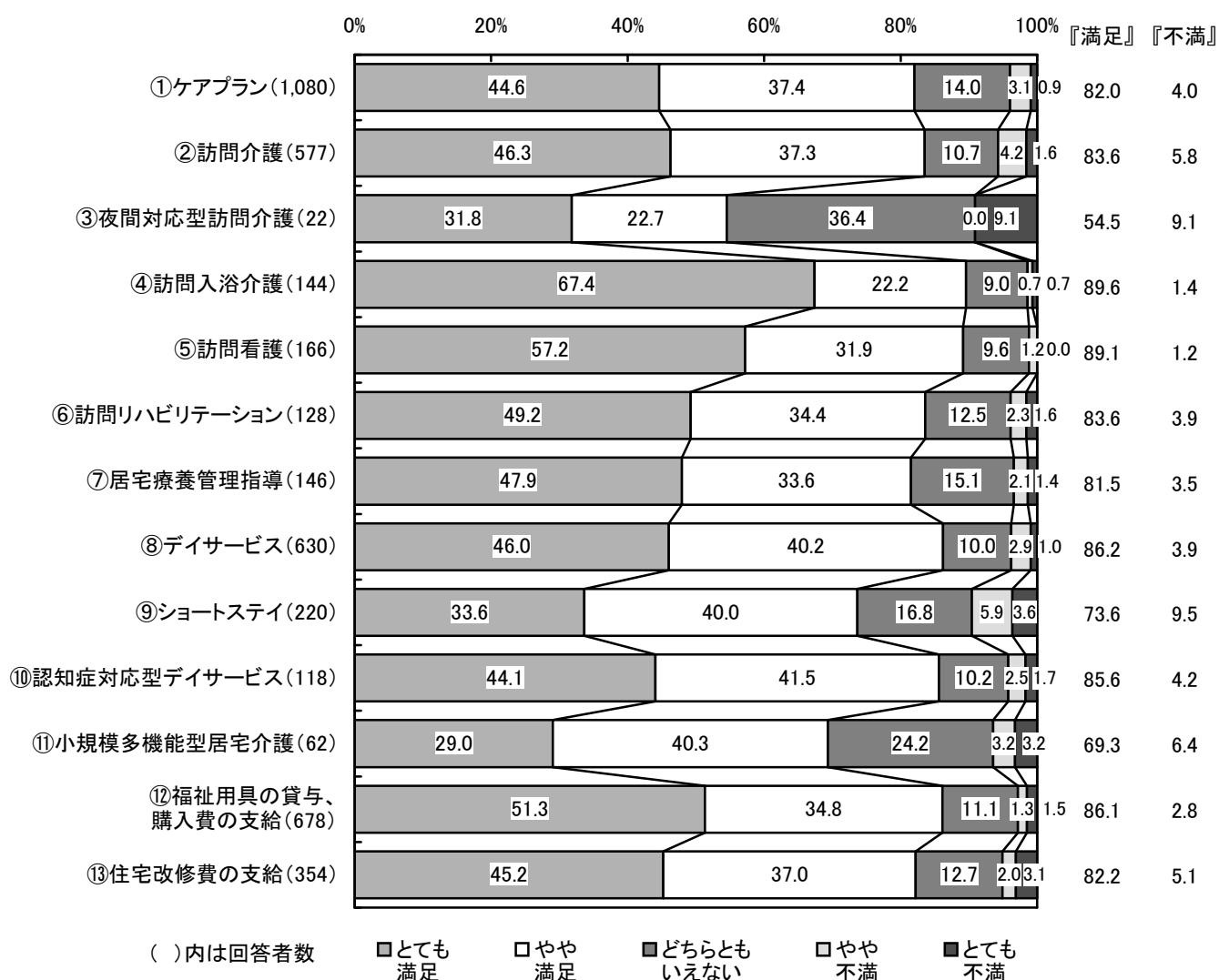


回答者数=1,226人

(6) 在宅の介護保険サービスの満足度

在宅の介護保険サービスの満足度をみると、「とても満足」と「やや満足」をあわせた『満足』の割合は、“④訪問入浴介護”89.6%がもっとも高く、以下、“⑤訪問看護”89.1%、“⑧デイサービス”86.2%、“⑫福祉用具の貸与、購入費の支給”86.1%、“⑩認知症対応型デイサービス”85.6%と続く。

一方、“⑨ショートステイ”と“③夜間対応型訪問介護”は「やや不満」と「とても不満」をあわせた『不満』が1割近くになっている。

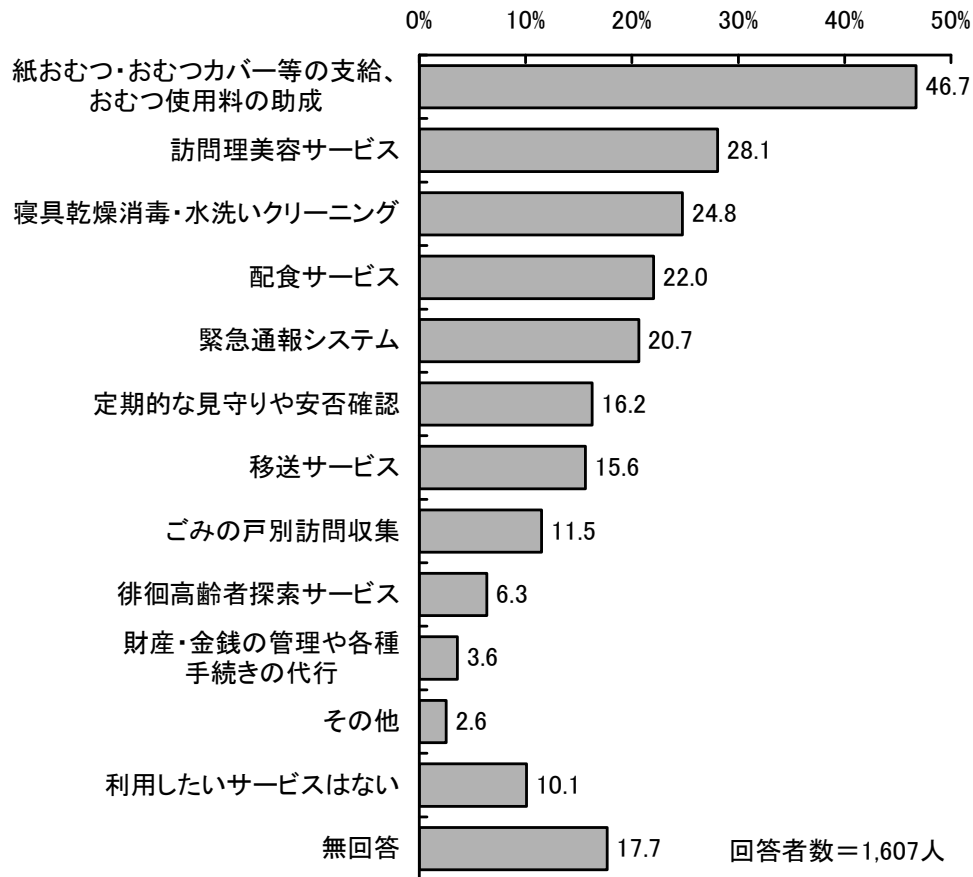


※『満足』 = 「とても満足」 + 「やや満足」

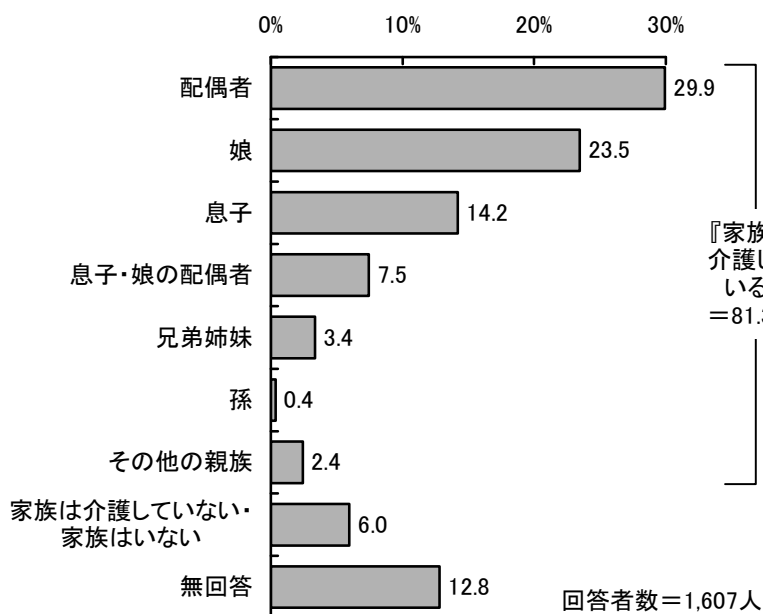
※『不満』 = 「やや不満」 + 「とても不満」

(7) 今後利用したい介護保険外サービス

今後利用したい介護保険外サービスは、「紙おむつ・おむつカバー等の支給、おむつ使用料の助成」46.7%がもっとも高い。次いで、「訪問理美容サービス」「寝具乾燥消毒・水洗いクリーニング」「配食サービス」「緊急通報システム」が2割台で続いている。



(8) 家族介護の状況

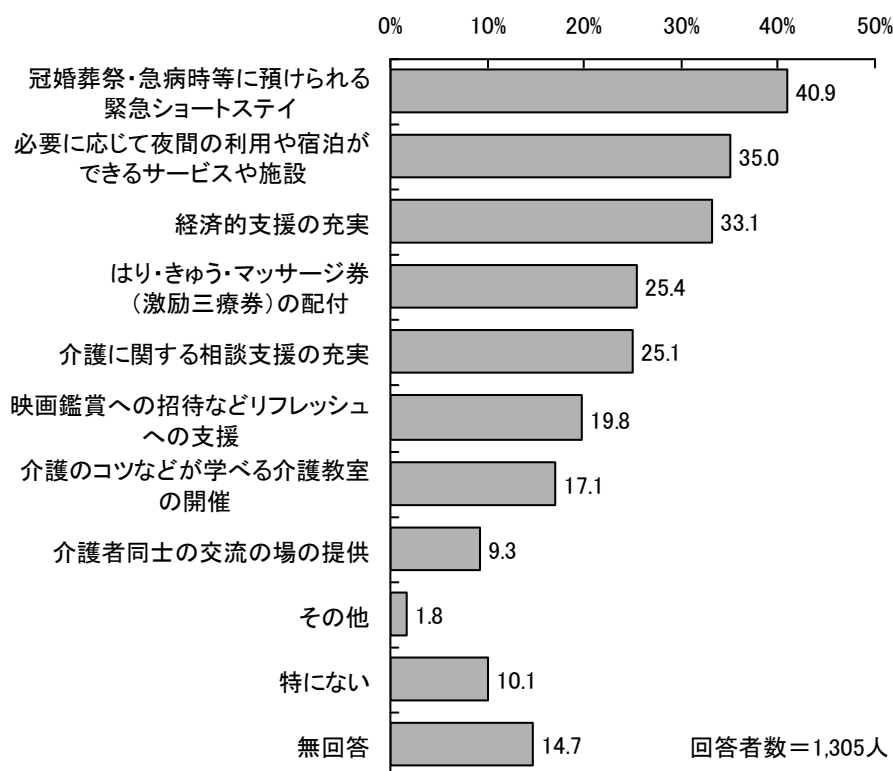


家族介護の状況を見ると、『家族が介護している』が81.3%を占める。具体的な介護者は、「配偶者」29.9%に次いで、「娘」23.5%、「息子」14.2%、「息子・娘の配偶者」7.5%の順となっている。

※『家族が介護している』 = 「配偶者」 + 「娘」 + 「息子」 + 「息子・娘の配偶者」 + 「兄弟姉妹」 + 「孫」 + 「その他の親族」

(9) 介護者にとって必要な支援

介護者にとって必要な支援は、「冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急ショートステイ」40.9%がもっとも高く、次いで「必要に応じて夜間の利用や宿泊ができるサービスや施設」35.0%、「経済的支援の充実」33.1%が3割を超え続いている。

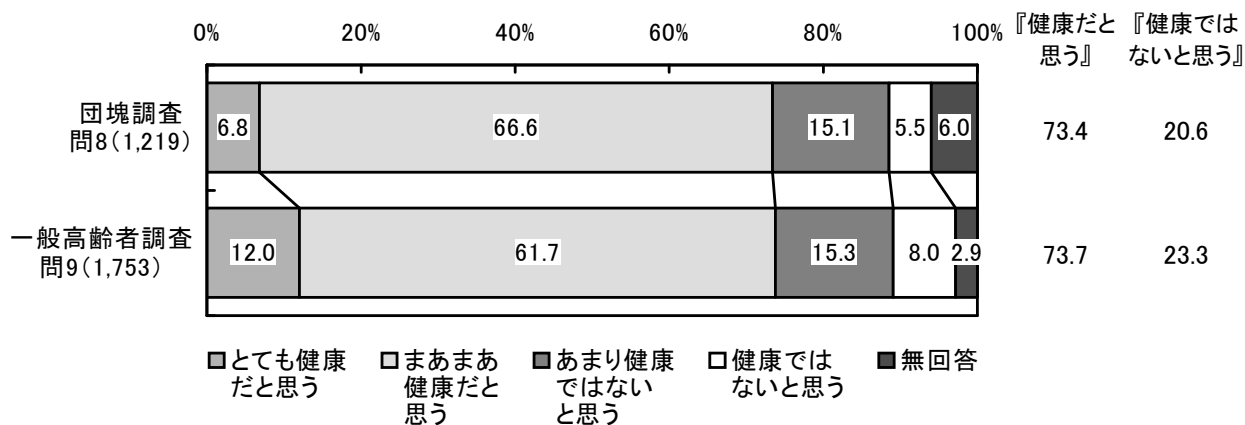


5. 区民向け4調査間の比較結果

(1)健康状態

『健康だと思う』割合は、【団塊調査】73.4%、【一般高齢者調査】73.7%と、結果にほとんど差はないが、【一般高齢者調査】は【団塊調査】に比べて「とても健康だと思う」と回答した人の割合が高い。

一方、『健康ではないと思う』と回答した人の割合は、【団塊調査】20.6%、【一般高齢者調査】23.3%であり、【一般高齢者調査】の方が2.7ポイント高くなっている。



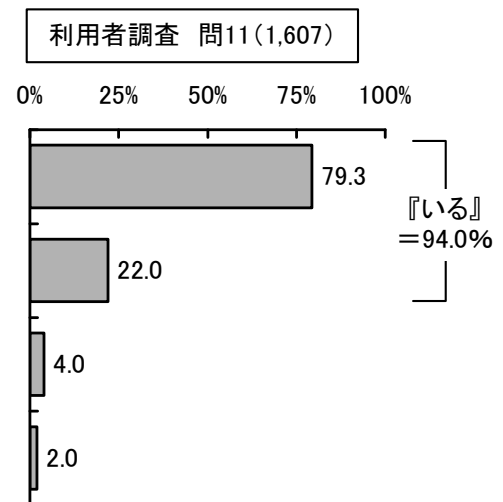
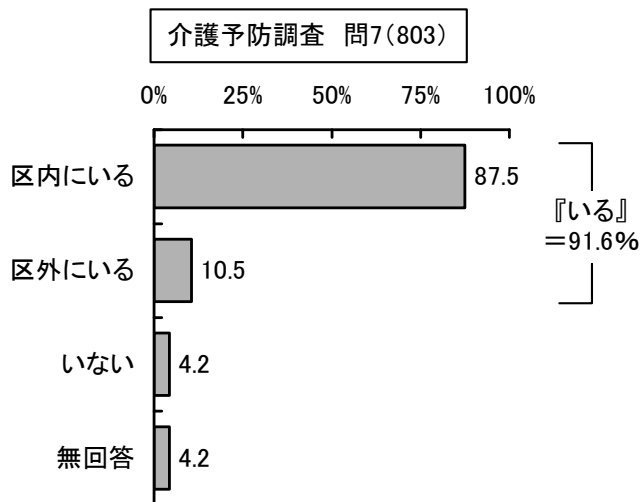
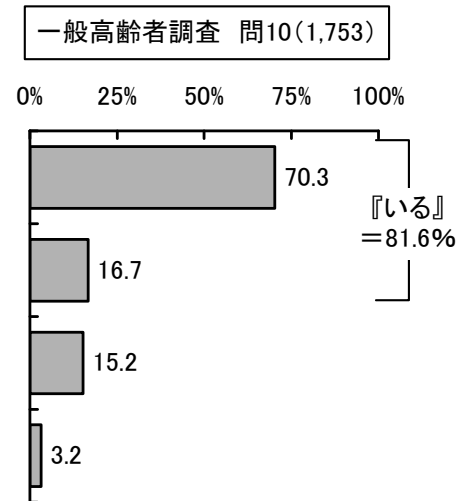
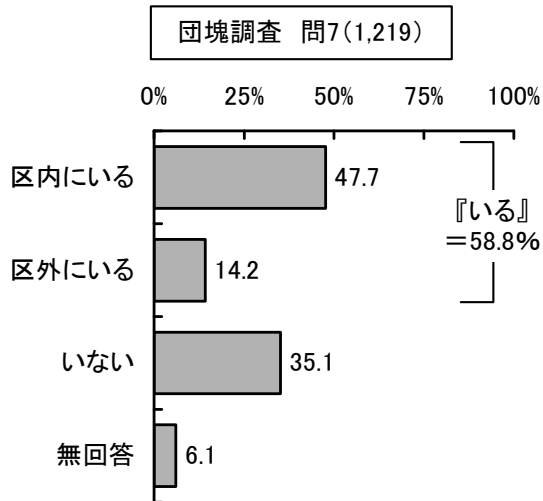
※ () は回答者数

※ 『健康だと思う』 = 「とても健康だと思う」 + 「まあまあ健康だと思う」

※ 『健康ではないと思う』 = 「あまり健康ではないと思う」 + 「健康ではないと思う」

(2) かかりつけ医の有無

かかりつけ医が「いる」割合は、【団塊調査】は5割台、【一般高齢者調査】は8割台、【介護予防調査】と【利用者調査】は9割台となっている。

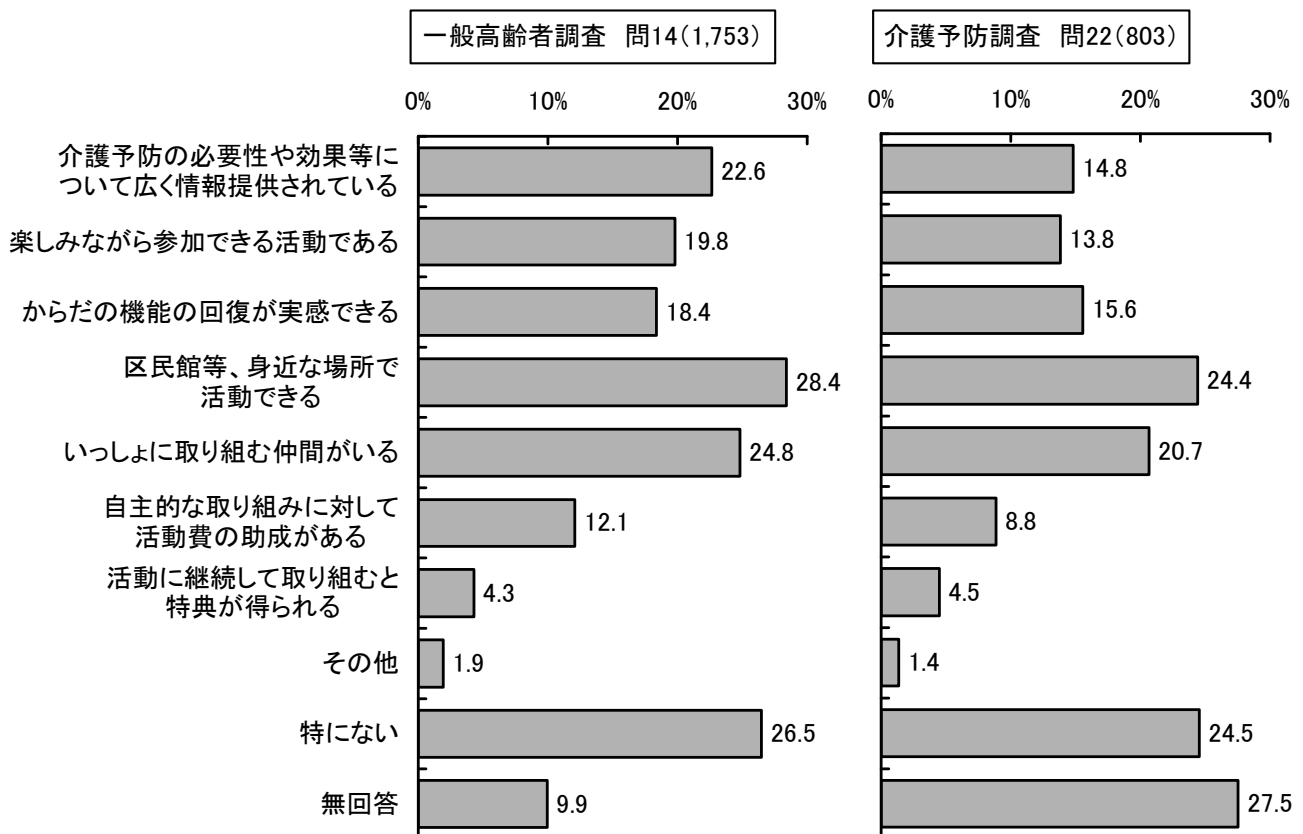


※ () は回答者数

※ 『いる』 = 100% - 「いない」 - 「無回答」

(3) 介護予防に取り組みやすくするための条件

【一般高齢者調査】【介護予防調査】とも、「区民館等、身近な場所で活動できる」「いっしょに取り組む仲間がいる」が上位2項目である。次いで、【一般高齢者調査】では「介護予防の必要性や効果等について広く情報提供されている」が、【介護予防調査】では「からだの機能の回復が実感できる」がそれぞれ第3位となっている。

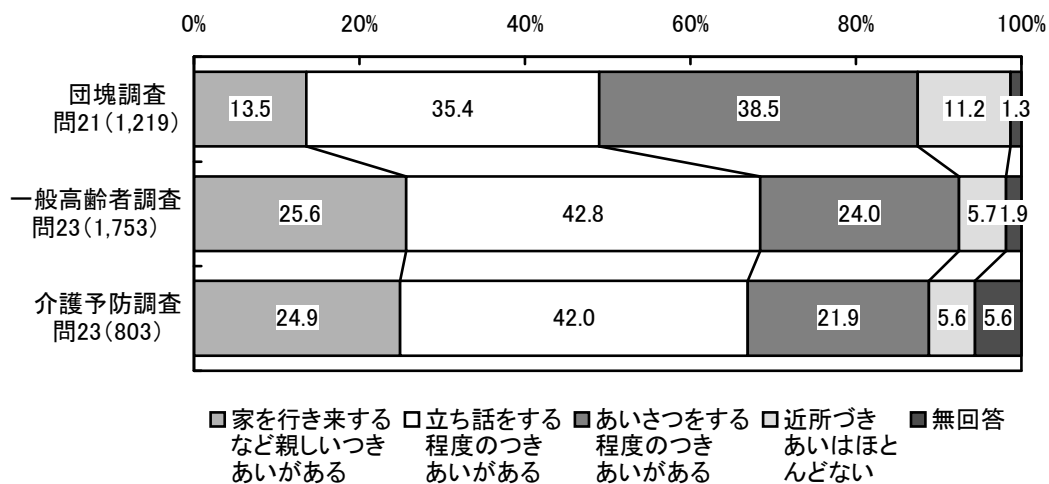


※ () は回答者数

(4) 近所の人とのつきあいの程度

【団塊調査】では「あいさつをする程度のつきあいがある」が4割近くを占めてもっとも高く、次いで「立ち話をする程度のつきあいがある」が続く。また、約1割が「近所づきあいはほとんどない」と回答している。

【一般高齢者調査】と【介護予防調査】では、「立ち話をする程度のつきあいがある」が約4割を占めてもっとも高く、次いで「家を行き来するなど親しいつきあいがある」となっている。

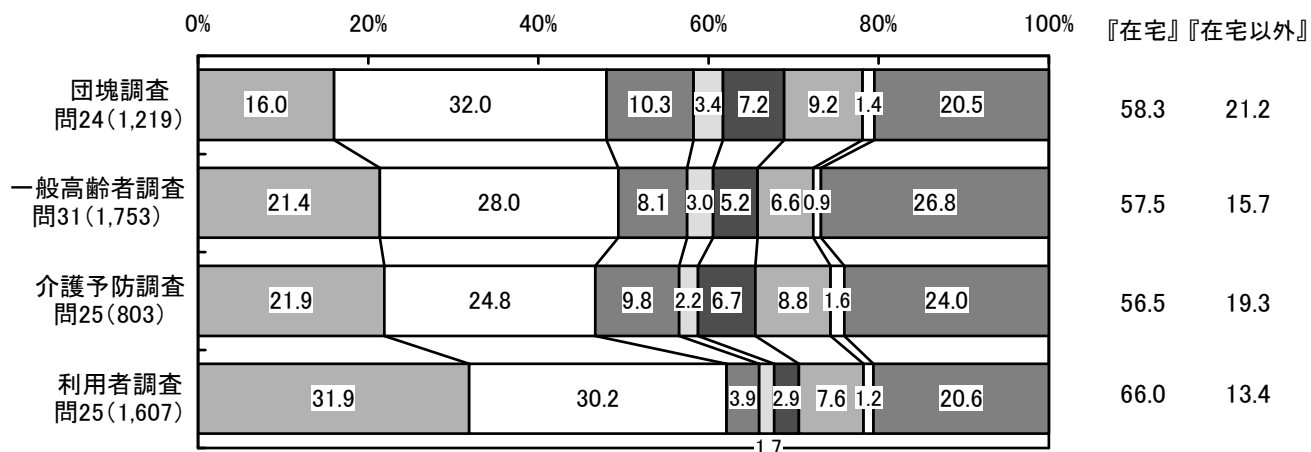


※ () は回答者数

(5) 今後介護を受けたい場所

『在宅』を希望する割合は、すべての調査で5割を超えている。

「主に介護サービスを利用して、自宅（又は子どもの家）で暮らしたい」との意向が各調査とも高いが、【利用者調査】においては、「主に家族の介護を受けながら、自宅（又は子どもの家）で暮らしたい」の割合がもっとも高くなっている。



- 主に家族の介護を受けながら、自宅（又は子どもの家）で暮らしたい
- 主に介護サービスを利用して、自宅（又は子どもの家）で暮らしたい
- 高齢者向け住宅に住み替えて、介護サービスを利用したい
- 有料老人ホームなどで暮らしたい
- 数人で暮らせる、家庭的な介護付きホーム（施設）で暮らしたい
- 介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい
- その他
- わからない・無回答

※（ ）は回答者数

※『在宅』＝「主に家族の介護を受けながら、自宅（又は子どもの家）で暮らしたい」
 ＋「主に介護サービスを利用して、自宅（又は子どもの家）で暮らしたい」
 ＋「高齢者向け住宅に住み替えて、介護サービスを利用したい」

※『在宅以外』＝「有料老人ホームなどで暮らしたい」
 ＋「数人で暮らせる、家庭的な介護付きホーム（施設）で暮らしたい」
 ＋「介護保険施設（特別養護老人ホームなど）に入りたい」
 ＋「その他」

(6)在宅で暮らし続けるために必要と思うこと

いずれの調査においても、「住み続けられる住まいがある」「家族が同居している、または近くにいる」が、上位2項目となっている。次いで、【団塊調査】【一般高齢者調査】【利用者調査】では「訪問介護やデイサービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」が、【介護予防調査】では「身近に利用できる医療機関がある」が第3位にあげられている。

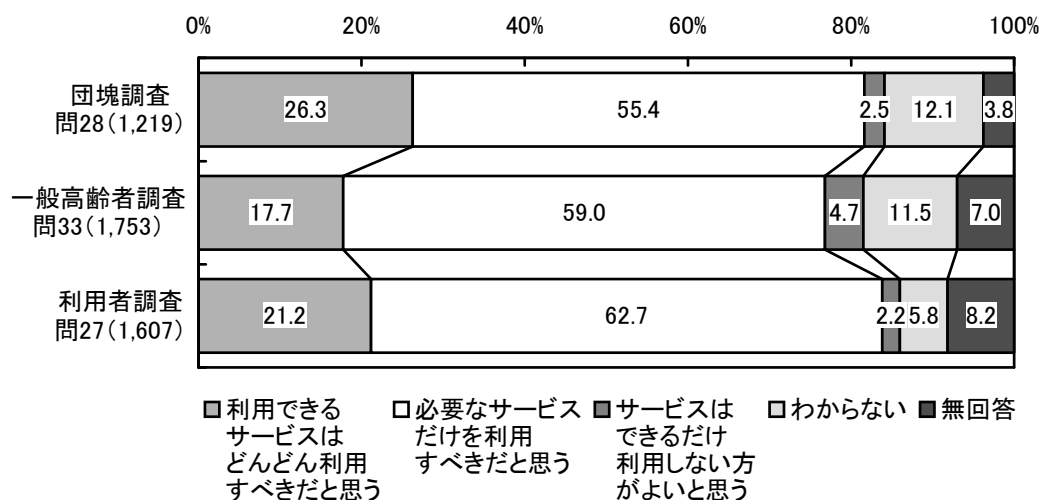
	団塊 調査 問 25	一般高齢 者調査 問 32	介護予防 調査 問 26	利用者 調査 問 26
回答者数	1,219 人	1,753 人	803 人	1,607 人
住み続けられる住まいがある	66.1%	60.7%	57.0%	62.7%
家族が同居している、または近くにいる	53.5%	49.1%	43.2%	54.5%
見守ってくれる友人、知人が近くにいる	18.0%	14.4%	13.8%	17.0%
訪問介護やデイサービスなど、普段から利用できる介護サービスがある	46.9%	31.7%	25.4%	45.5%
必要に応じて、通ったり宿泊できるような介護サービスがある	29.9%	20.3%	17.1%	26.4%
24 時間いつでも訪問してくれる介護サービスがある	33.8%	22.0%	19.7%	21.2%
身近に利用できる医療機関がある	39.2%	31.1%	29.8%	40.3%
いつでも利用(入所)できる施設が近くにある	31.2%	20.5%	17.7%	22.7%
その他	0.9%	0.9%	0.4%	1.4%
わからない	9.6%	10.6%	11.8%	6.7%
特にない	2.1%	2.9%	3.0%	1.6%
無回答	2.6%	6.7%	9.3%	8.0%

※網掛けは各調査の上位3項目

(7) 介護保険サービスの利用に対する考え

いずれの調査においても「必要なサービスだけを利用すべきだと思う」がもっとも高く、【団塊調査】と【一般高齢者調査】では5割台、【利用者調査】では6割台を占める。

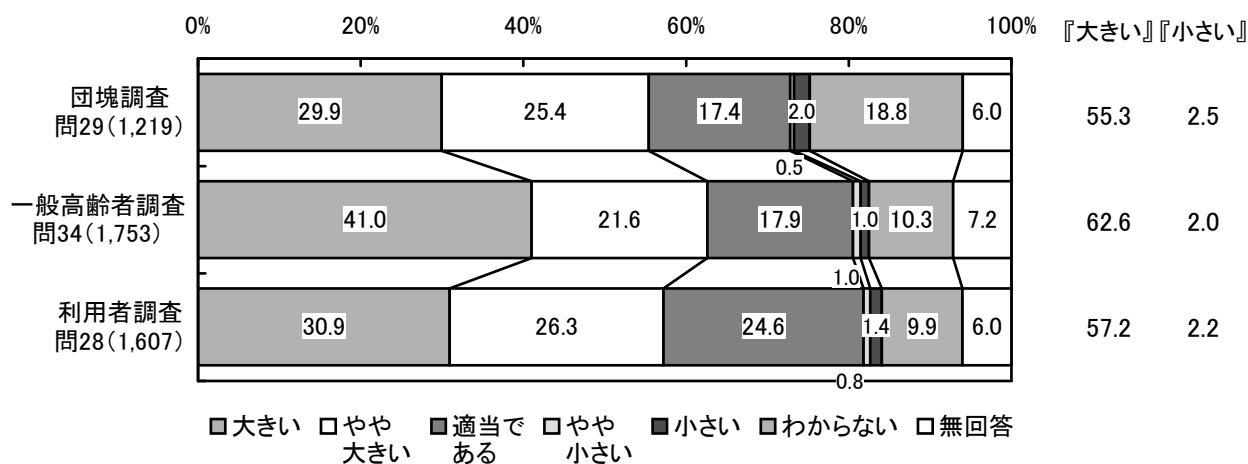
「利用できるサービスはどんどん利用すべきだと思う」をあげた人の割合は、【団塊調査】26.3%がもっとも高く、【利用者調査】が21.2%、【一般高齢者調査】が17.7%となっている。



※ () は回答者数

(8) 介護保険料の家計への影響

いずれの調査においても5割以上が家計への影響は『大きい』と回答しており、特に【一般高齢者調査】では6割を超えている。【利用者調査】では24.6%が「適当である」と回答しており、【団塊調査】や【一般高齢者調査】に比べて高い割合となっている。



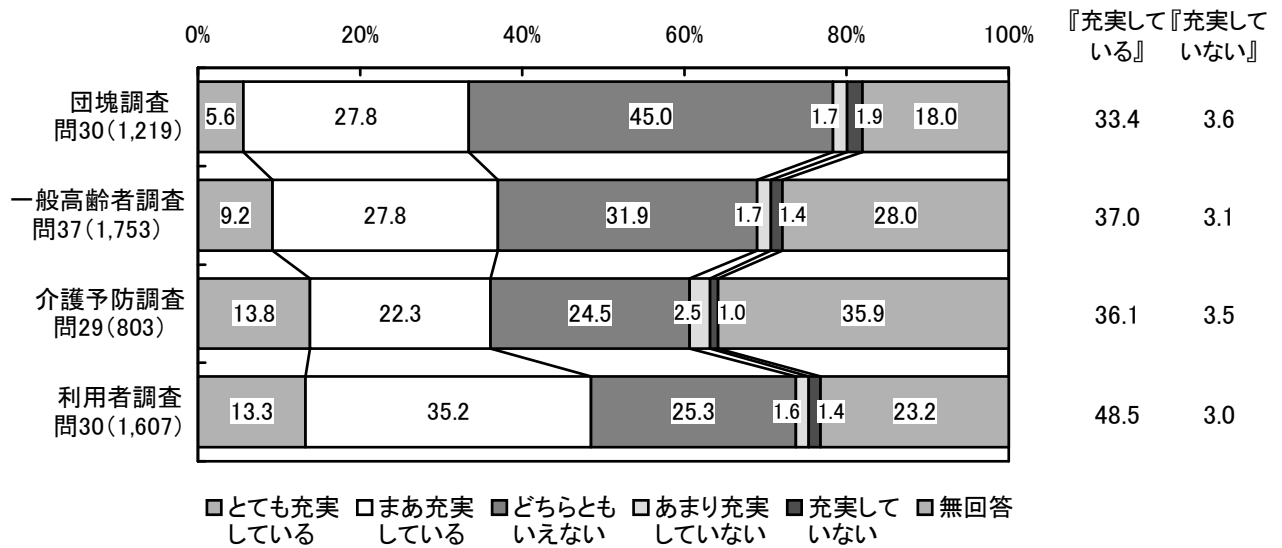
※ () は回答者数

※ 『大きい』 = 「大きい」 + 「やや大きい」

※ 『小さい』 = 「やや小さい」 + 「小さい」

(9) 区の熟年者施策の充実度

区の熟年者施策について『充実している』と回答した人の割合は、【団塊調査】【一般高齢者調査】【介護予防調査】の3割台に対し、【利用者調査】は48.5%と、他の調査に比べて高い割合となっている。



※ () は回答者数

※ 『充実している』 = 「とても充実している」 + 「まあ充実している」

※ 『充実していない』 = 「あまり充実していない」 + 「充実していない」

(10) 区の熟年者施策で充実してほしいこと

いずれの調査においても「介護する家族に対する支援」が第1位であり、特に【一般高齢者調査】では50.9%と約半数の人からあげられている。

また、「在宅生活を支える医療ケアなど医療の充実」は、【団塊調査】を除く3つの調査で上位3項目に入っている。

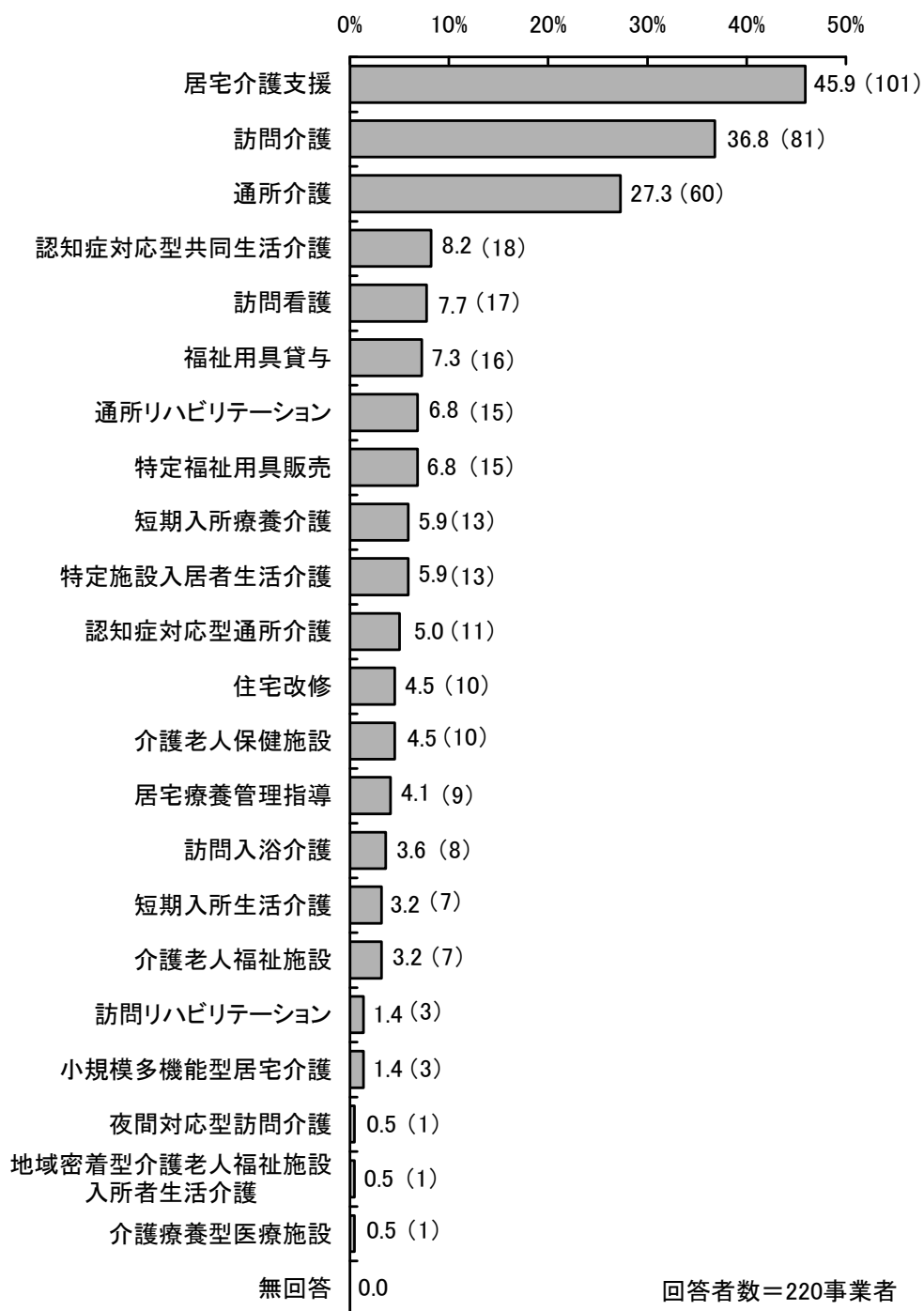
	団塊 調査 問 31	一般高齢 者調査 問 38	介護予防 調査 問 30	利用者 調査 問 31
回答者数	1,219 人	1,753 人	803 人	1,607 人
健康づくりや介護が必要にならないための支援	38.1%	44.9%	35.6%	31.2%
熟年者の就労や社会参加の支援	38.3%	25.4%	16.6%	15.5%
配食や買い物、ごみ出し等の生活支援	21.3%	17.3%	15.4%	26.6%
在宅生活を支える医療ケアなど医療の充実	42.3%	42.5%	36.9%	40.1%
在宅生活を支える介護サービス	44.0%	41.4%	34.9%	43.4%
介護が必要になっても住み続けられる住まいの整備	37.3%	38.7%	33.7%	33.2%
介護を受けられる入所施設の整備	43.8%	39.7%	36.1%	38.1%
ひとり暮らしの人等を地域で見守るネットワークづくり	36.8%	37.6%	31.3%	31.2%
介護する家族に対する支援	46.8%	50.9%	43.1%	48.9%
介護保険制度や区の熟年者施策に関する情報提供	28.6%	31.8%	27.4%	25.6%
申請や相談がしやすい窓口の整備	42.9%	42.1%	39.6%	33.6%
判断能力が低下した場合の支援や熟年者の人権擁護	28.2%	29.1%	28.9%	25.7%
段差解消や歩道の整備など、安全なまちづくり	29.1%	34.4%	33.1%	39.2%
その他	1.6%	1.1%	0.7%	2.8%
特になし	3.8%	5.1%	5.7%	4.9%
無回答	6.6%	8.7%	14.7%	10.8%

※網掛けは各調査の上位3項目

6. 介護保険サービス事業者調査

(1) 実施している介護サービス事業

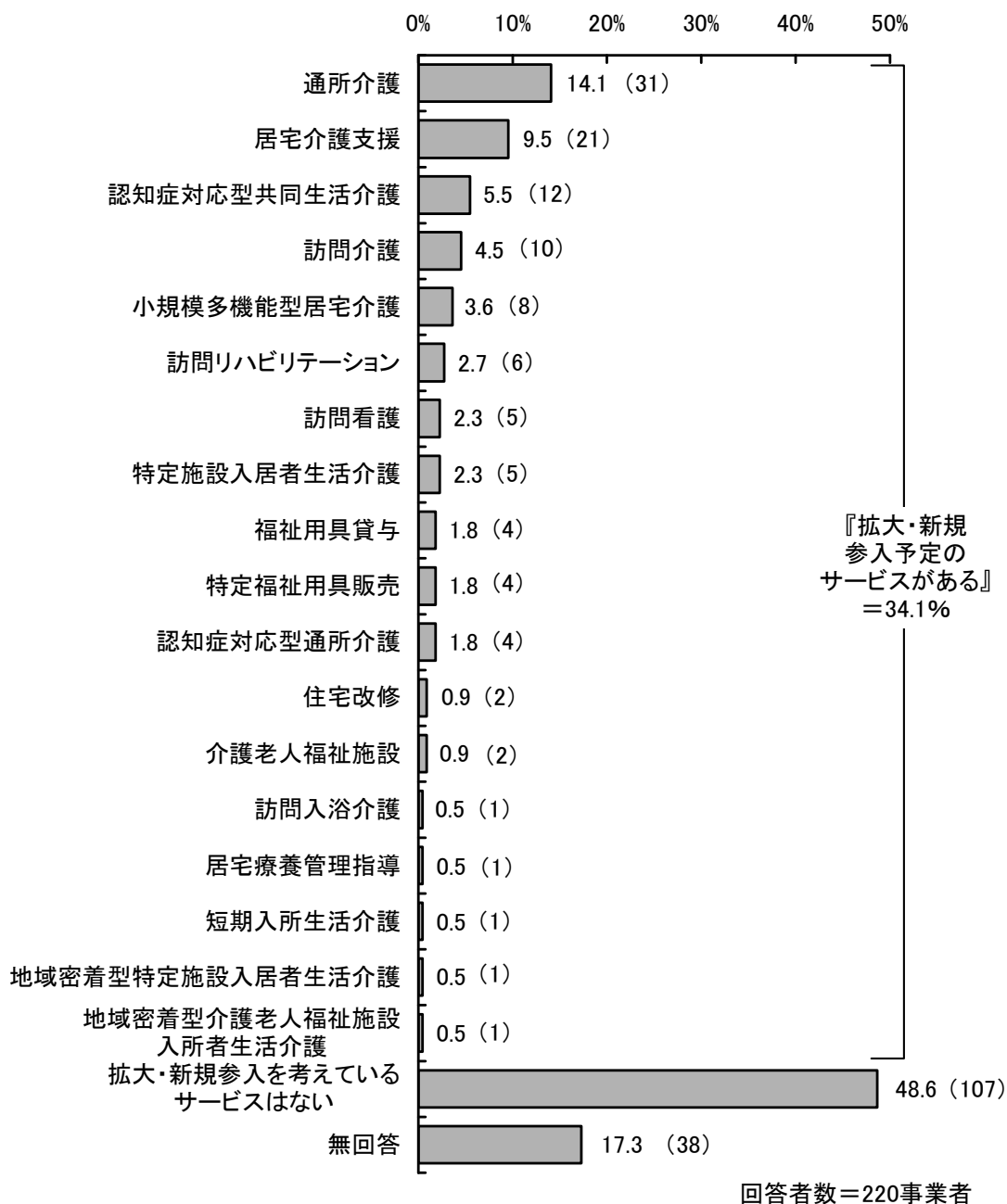
実施している介護サービス事業は、「居宅介護支援」が45.9%ともっとも高く、次いで「訪問介護」36.8%、「通所介護」27.3%、「認知症対応型共同生活介護」8.2%、「訪問看護」7.7%などとなっている。



※ () 内は事業所数

(2)事業の拡大・新規参入を考えているサービス

事業者が事業の拡大・新規参入を考えているサービスは、「通所介護」14.1%（31事業所）、「居宅介護支援」9.5%（21事業所）、「認知症対応型共同生活介護」5.5%（12事業所）、「訪問介護」4.5%（10事業所）などとなっている。



※ () 内は事業所数

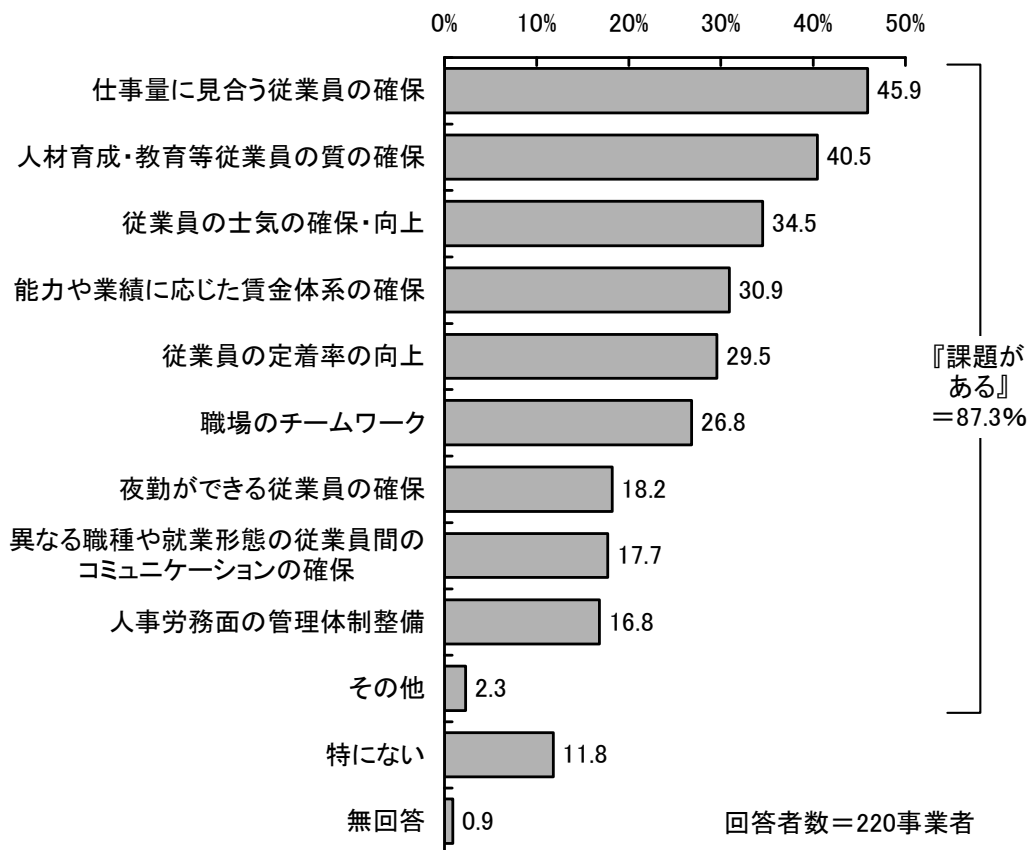
※『拡大・新規参入予定のサービスがある』=100%－「拡大・新規参入を考えているサービスはない」－「無回答」

※参入意向のないサービスは掲載を省略している

(3)人材確保や雇用管理に関する課題

人材確保や雇用管理に関して、『課題がある』は87.3%となっている。

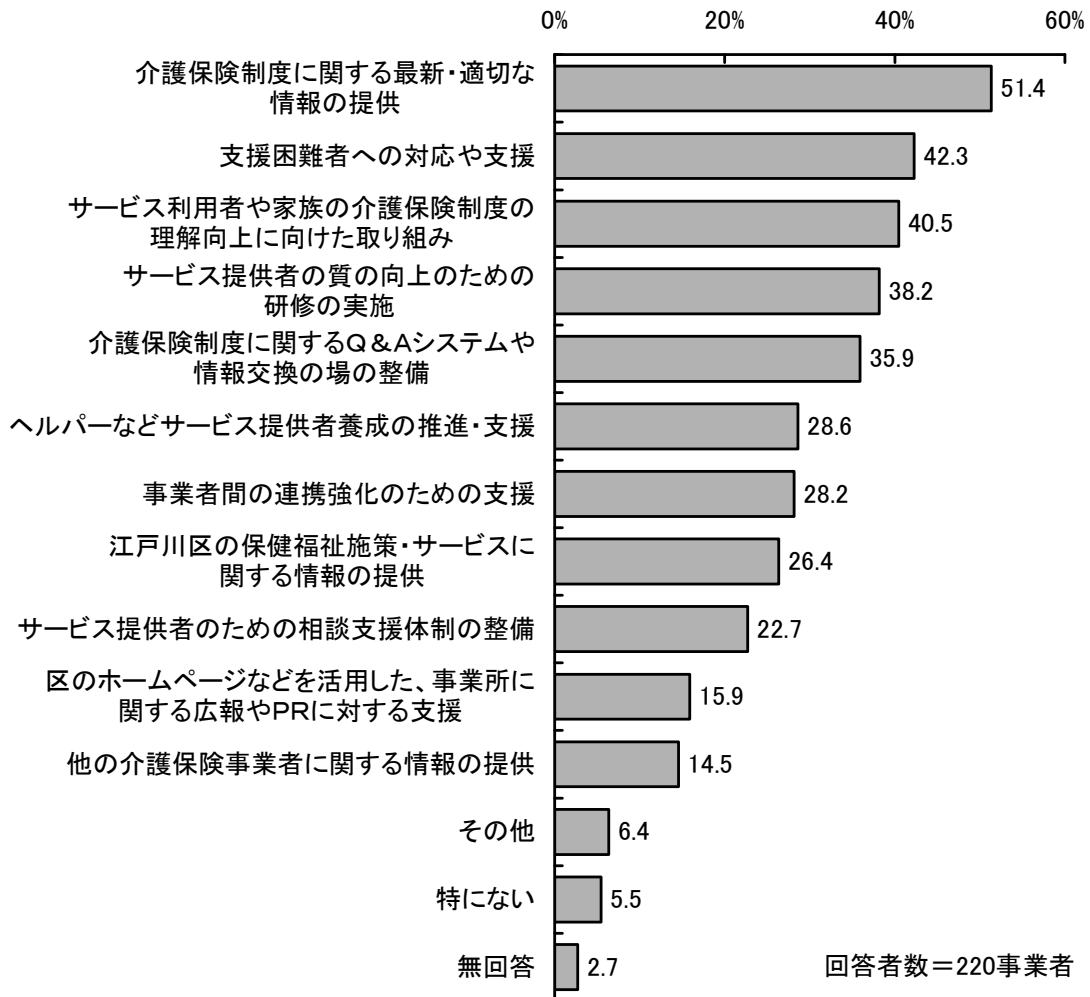
具体的には、「仕事量に見合う従業員の確保」45.9%がもっとも高く、次いで「人材育成・教育等従業員の質の確保」40.5%、「従業員の士気の確保・向上」34.5%、「能力や業績に応じた賃金体系の確保」30.9%、「従業員の定着率の向上」29.5%の順となっている。



※『課題がある』 = 100% - 「特にない」 - 「無回答」

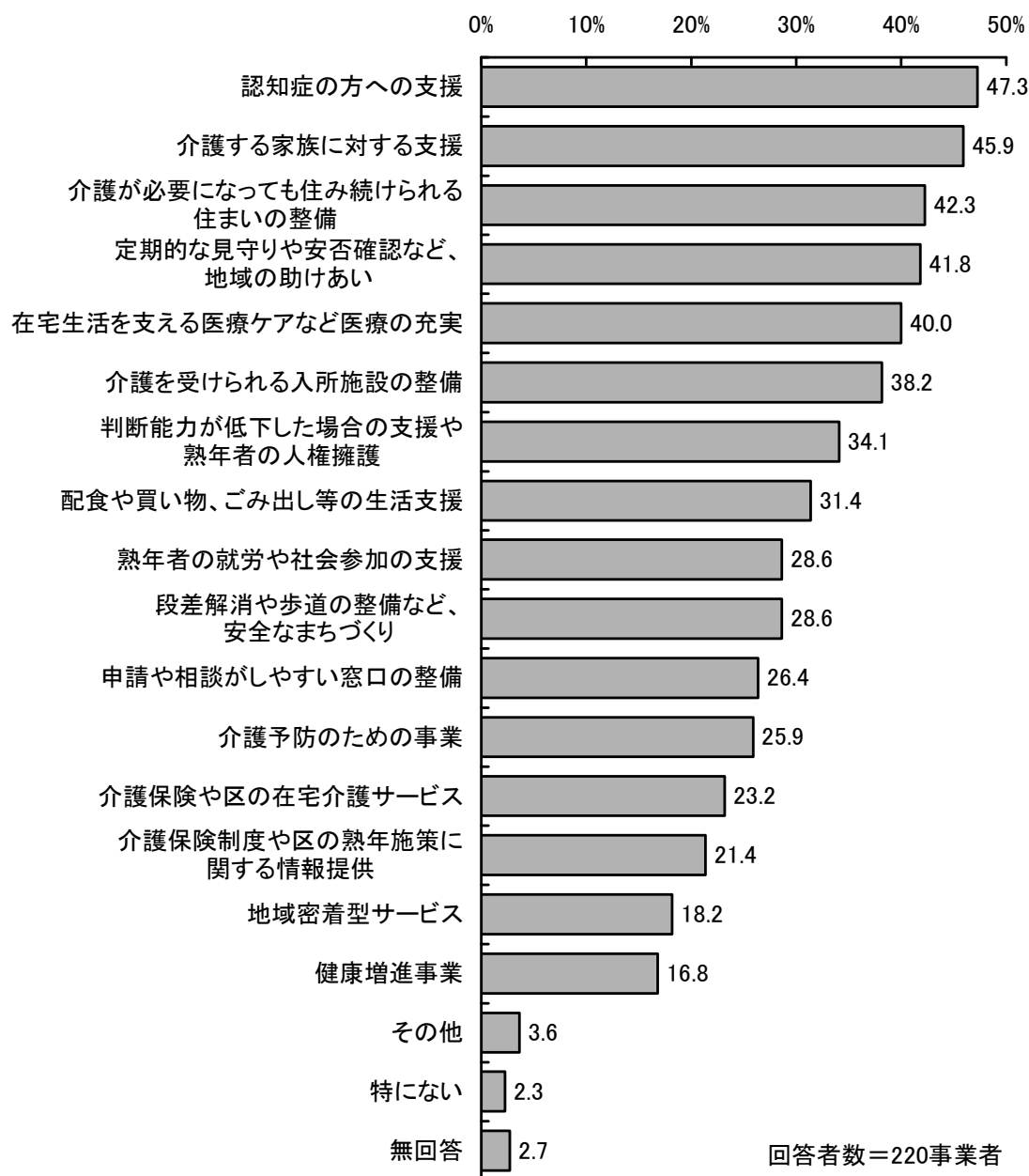
(4) 区に充実・支援してほしいこと

区に充実・支援してほしいことは、「介護保険制度に関する最新・適切な情報の提供」51.4%がもっとも高い。続いて、「支援困難者への対応や支援」42.3%、「サービス利用者や家族の介護保険制度の理解向上に向けた取り組み」40.5%、「サービス提供者の質の向上のための研修の実施」38.2%、「介護保険制度に関するQ&Aシステムや情報交換の場の整備」35.9%となっており、これらが上位5項目にあげられている。



(5) 今後力を入れるべき江戸川区の熟年者施策

今後力を入れるべき江戸川区の熟年者施策は、「認知症の方への支援」47.3%がもっとも高く、「介護する家族に対する支援」45.9%、「介護が必要になっても住み続けられる住まいの整備」42.3%、「定期的な見守りや安否確認など、地域の助けあい」41.8%、「在宅生活を支える医療ケアなど医療の充実」40.0%が、いずれも4割台で続いている。

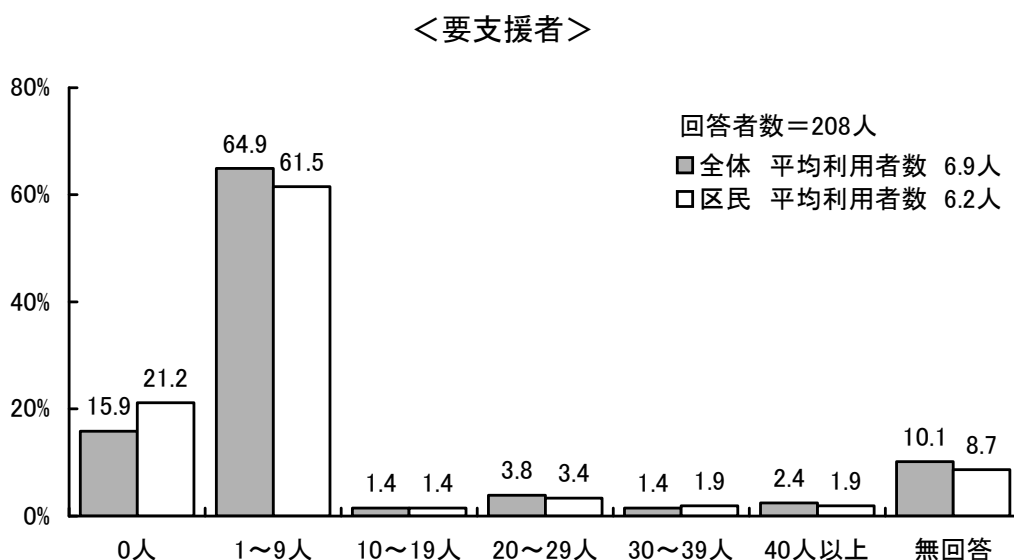
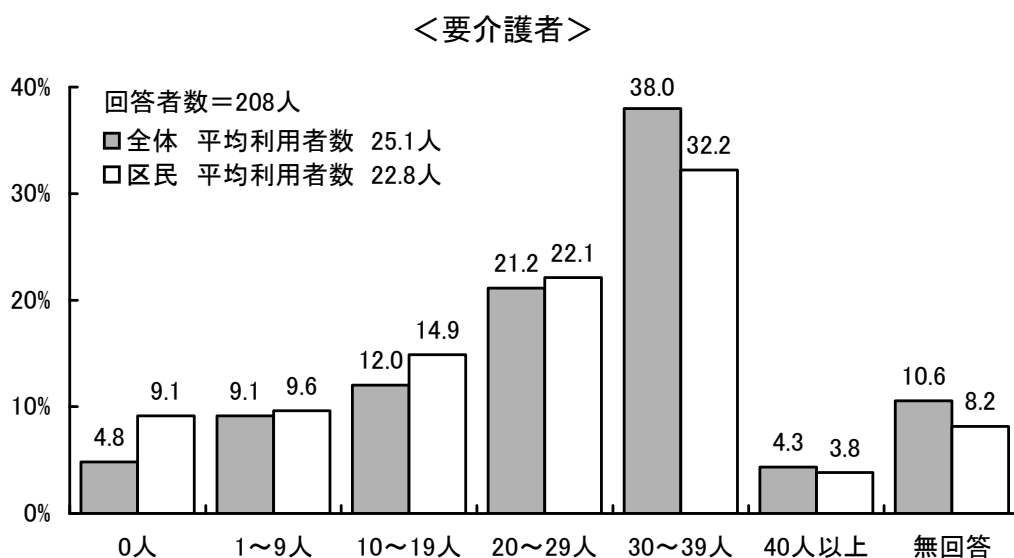


7. 介護支援専門員調査

(1) 担当している利用者数

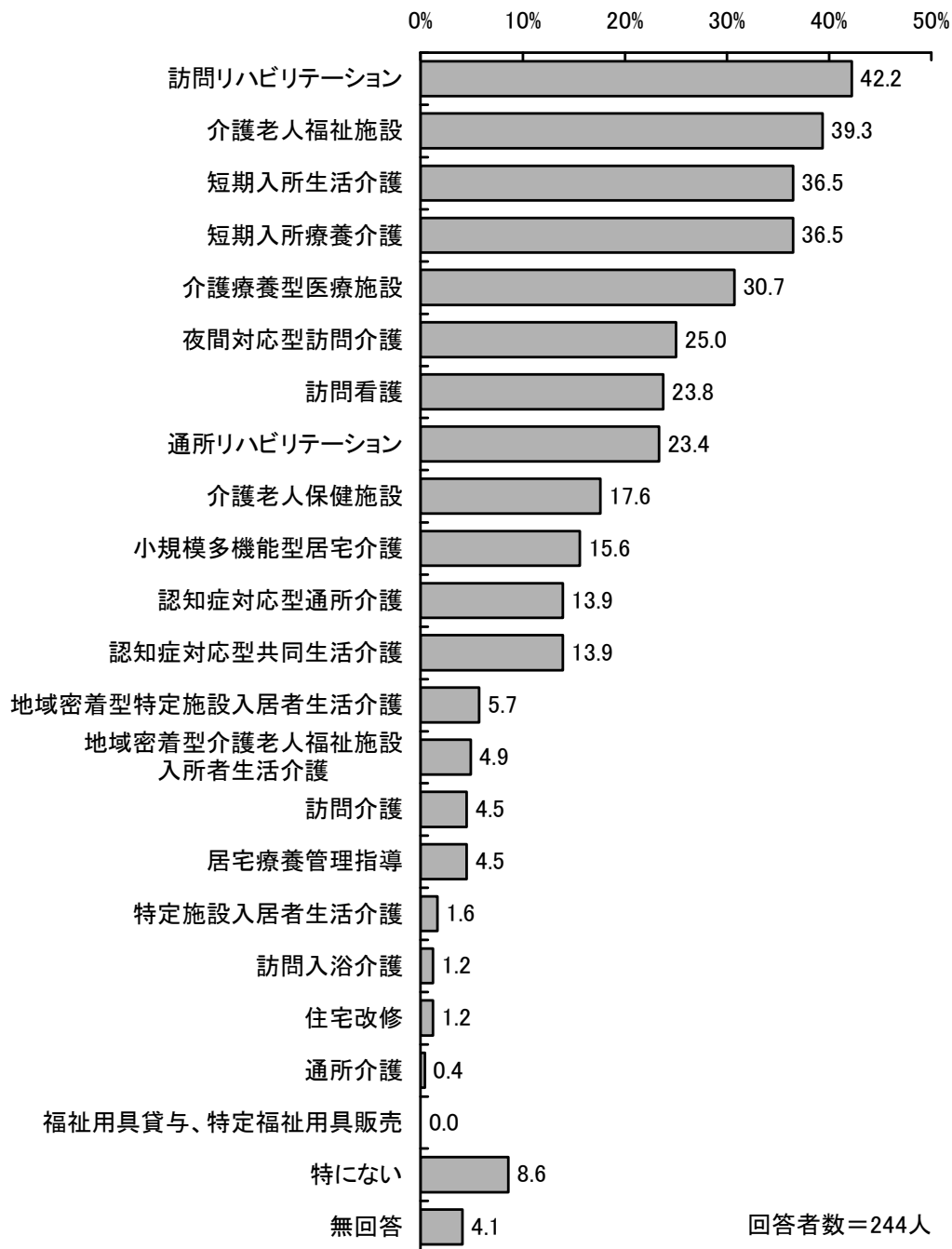
担当している利用者数をみると、要介護者では、「30～39人」がもっとも高く、次いで「20～29人」となっている。全体の平均は25.1人で、そのうち区民の平均利用者数は22.8人となっている。

要支援者では、「1～9人」が6割台を占めており、全体の平均は6.9人、そのうち区民の平均利用者数は6.2人となっている。



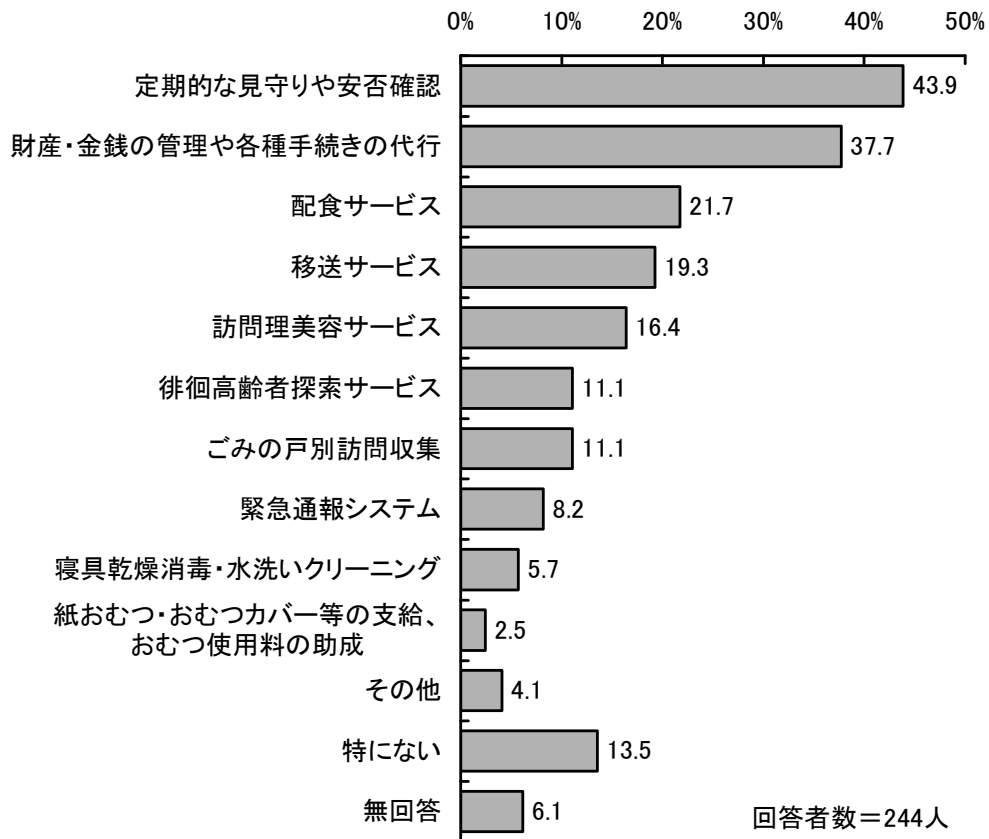
(2) 不足していると感じる介護保険サービス

江戸川区で不足していると感じる介護保険サービスは、「訪問リハビリテーション」42.2%がもっとも高い。次いで、「介護老人福祉施設」39.3%、「短期入所生活介護」「短期入所療養介護」各36.5%、「介護療養型医療施設」30.7%が3割台で続き、「夜間対応型訪問介護」25.0%、「訪問看護」23.8%、「通所リハビリテーション」23.4%が2割台となっている。



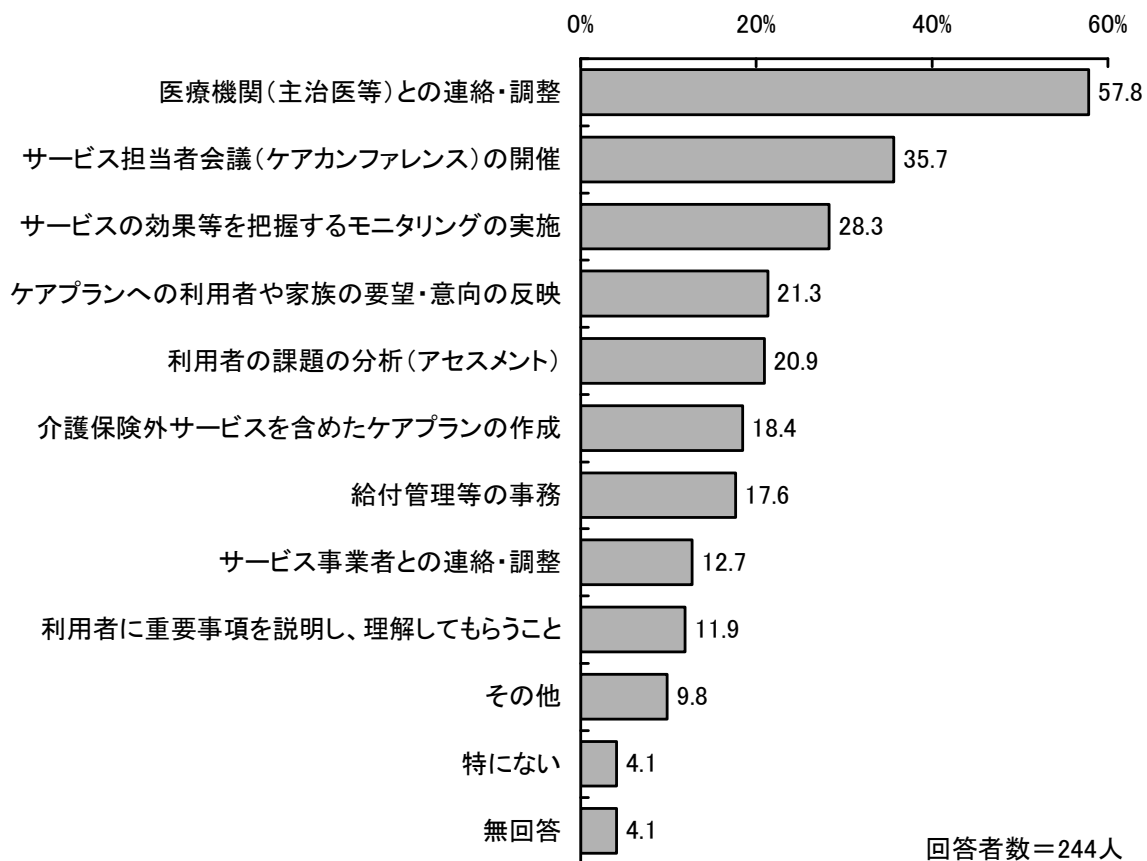
(3) 充実すべき区の保健福祉サービス

充実すべき区の保健福祉サービスとしては、「定期的な見守りや安否確認」43.9%がもっとも高い。次いで、「財産・金銭の管理や各種手続きの代行」37.7%、「配食サービス」21.7%、「移送サービス」19.3%、「訪問理美容サービス」16.4%の順となっている。



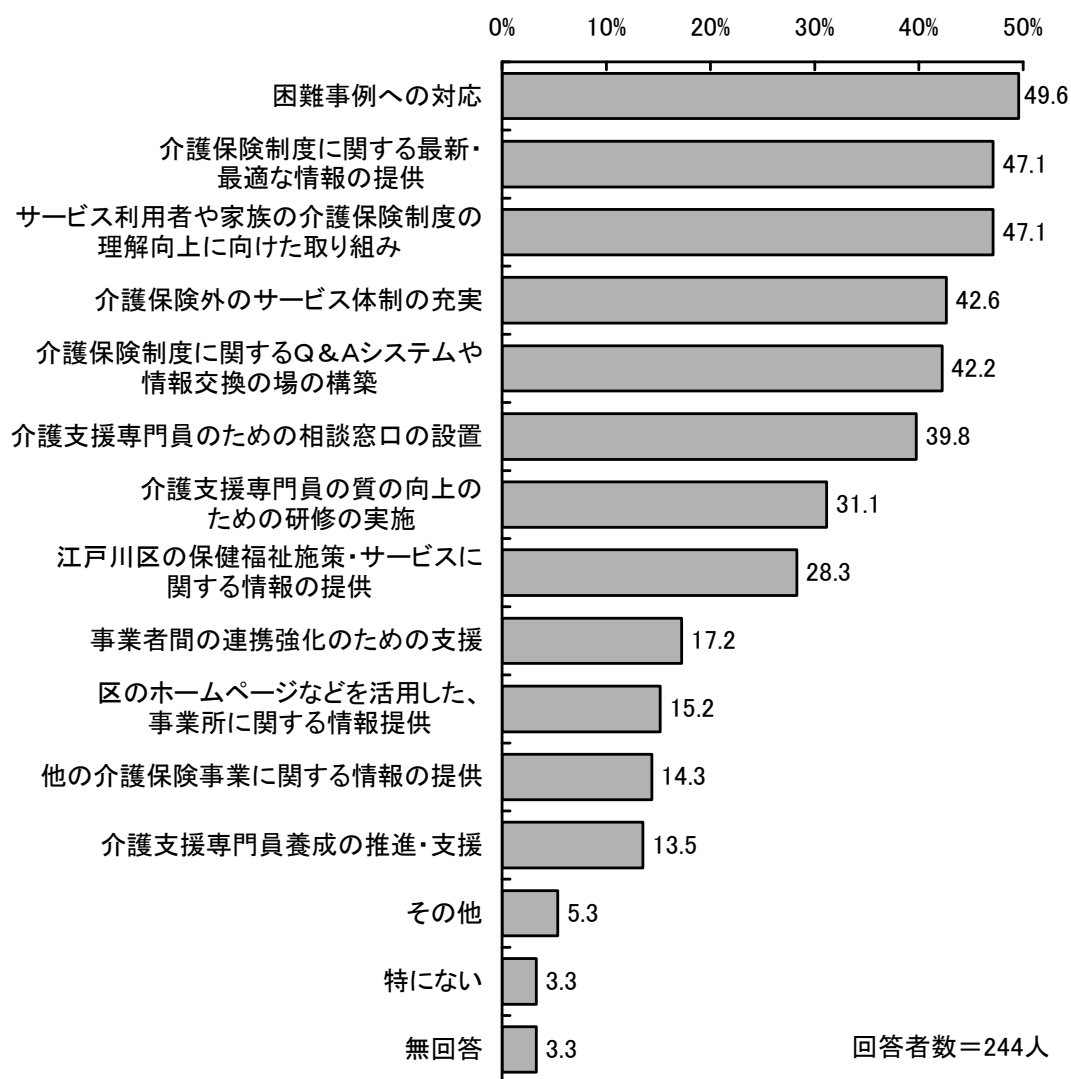
(4) 負担に感じるケアマネジメント業務

負担に感じるケアマネジメント業務は、「医療機関（主治医等）との連絡・調整」57.8%がもっとも高く、半数以上からあげられている。次いで、「サービス担当者会議（ケアカンファレンス）の開催」35.7%、「サービスの効果等を把握するモニタリングの実施」28.3%、「ケアプランへの利用者や家族の要望・意向の反映」21.3%の順となっている。



(5) 区に支援・充実してほしいと思うこと

区に支援・充実してほしいと思うこととしては、「困難事例への対応」49.6%、「介護保険制度に関する最新・最適な情報の提供」「サービス利用者や家族の介護保険制度の理解向上に向けた取り組み」各 47.1%、「介護保険外のサービス体制の充実」42.6%、「介護保険制度に関するQ&Aシステムや情報交換の場の構築」42.2%が上位5項目であり、それぞれ4割を超えている。次いで、「介護支援専門員のための相談窓口の設置」39.8%、「介護支援専門員の質の向上のための研修の実施」31.1%が続いている。



江戸川区介護保険事業計画及び熟年しあわせ計画
改定のための基礎調査報告書
< 概要版 >

平成23年(2011年)4月

編集・発行 江戸川区福祉部
〒132-8501 東京都江戸川区中央一丁目4番1号
電話 03(3652)1151(代表)

集計・分析 株式会社コモン計画研究所
〒166-0015 東京都杉並区成田東五丁目35番15号
THE PLAZA-F 2階
電話 03(3220)5415
